



発送と郵便業務
インサーター

Relay™ 3000/4000

ドキュメントインサーションシステム
(タッチパネルとバーコードスキャン機能)

操作ガイド

SV63138-JA Rev. D

2016年8月1日

FCC 準拠ステートメント

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。デジタルデバイスの制限事項は、機器を業務用環境で操作した場合に電波干渉から保護することを目的に定められています。この機器は無線周波の電磁エネルギーを生成、使用、および放出します。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信で電波干渉が発生する場合があります。この機器を一般家庭で使用すると、電波干渉が発生する可能性があります。そのような場合、電波干渉の修復はお客様ご自身の負担となります。プリンターその他の周辺機器とともに本装置を操作する際は、必ずカバー保護されたインターフェイスケーブルを使用してください。

注意：法令準拠の義務を負う当事者からの明示的な承諾なしに本装置を変更または改造すると、（ピツニーボウズ）は装置を操作する権限を無効にする場合があります。



この機器は、該当する EU のすべての指令に準拠していることが証明されています。タッチパネルおよびメインのインサートシステムには、無線周波送信機器が含まれており、無線機器および電気通信端末機器に関する EU 指令 1999/5/EC および適合性の相互承認に準拠しています。



Relay 3000/4000 は、UL 認証（米国）および CUL 認証（カナダ）を取得しています。

LED の安全性

EN 62471 準拠の LED 放射

SV63138-JA Rev. D 2016 年 8 月 1 日

©2006, 2016 Pitney Bowes Inc. All rights reserved. ピツニーボウズの書面による明示的な許可がない限り、本書の一部または全部をいかなる方法においても複製することはできず、いかなる情報検索システムに保存することも、また、電子的または機械的を問わずいかなる方法においても伝送することはできません。

ピツニーボウズでは、この文書の正確性および有用性を確保するため、あらゆる合理的な努力を行っていますが、誤りや脱落、あるいは弊社製品の誤用または不正使用による障害に関して責任を負うことはできません。

製品の改良を引き続き行っているため、機器やマテリアルの仕様および性能については、予告なしに変更される場合があります。本書に記載の機能の一部がお使いの封入システムにない可能性があります。

E-Z シールは、Pitney Bowes Inc. の登録商標です。ENERGY STAR は米国環境保護庁の登録商標です。

安全性に関する注意

マシンを使用する際、次の使用上の注意を守ってください。

- マシンを使用する前に、本書をよくお読みください。
- マシンは本来の目的以外に使用しないでください。
- マシンは、利用しやすいコンセントの近くに設置してください。
- マシンは、適度な通気が得られ、点検のしやすい場所に設置してください。
- この機器に付属の AC アダプター電源を使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、機器が損傷する場合があります。
- AC アダプターは、機器の近くにあり、利用しやすい、適切にアースされたコンセントに直接差し込んでください。機械を適切に設置しないと、重大な事故の原因となることがあります。
- 電源コードを鋭い縁の上や家具の間に配線しないでください。
- 電源コードが張り過ぎないようにしてください。
- ユニットが損傷した場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
- 指、髪の毛、アクセサリー、衣服などは、常に可動部分から離すようにしてください。
- 機械の使用中は、可動部分または可動材料に触れないでください。紙詰まりを除く前に、マシンが完全に停止していることを確認してください。
- 紙詰まりした材料は、ゆっくりと慎重に取り除いてください。
- カバーを取り外さないでください。カバーの中には危険な部品が入っており、弊社サービス担当者以外は触れることができません。
- 火気があるものをマシンの上に置かないでください。
- 過熱を防ぐために、通気口を塞がないでください。
- 弊社純正の消耗品のみを使用してください。
- 不適切な保管状態、およびスプレー式ダスターや可燃性のスプレー式ダスターの使用は、事故の原因となる場合があります。
- 可燃の表示があるスプレー式ダスターは使用しないでください。スプレー式ダスターを使用する場合は、容器のラベルに記載されている指示や安全注意事項を必ずお読みください。
- 定期的な点検をせずにこの機器を運転すると、最適な運転性能が得られず、機器の機能不良の原因となることがあります。
- 必ず、御社の労働安全衛生基準に従ってください。
- 火事や感電の危険を減らすために、カバーを外したり、コントロールパネルまたはその基盤を分解したりしないでください。

安全性

- マシンが破損した場合や機能しない場合は、ただちにサービス担当者にご連絡ください。
- 以下については、販売元にご連絡ください。
 - 消耗品
 - ユニットが損傷した場合
 - 必要な保守サービススケジュール

スタッカーに AC アダプターが付いている場合：

- スタッカー専用の AC アダプターのみを使用してください。純正以外の AC アダプターを使用すると、ユニットが損傷する場合があります。
- 感電を防ぐために、AC アダプターは適切にアースされた壁側のプラグに差し込んでください。
- AC アダプターケーブルを先の尖った物の上に這わせたり、家具の間に挟まらないようにしてください。

重要：ここに記載されているインサーター機能およびオプションの一部は、お使いのインサーターではご利用いただけない場合があります。

安全性に関する注意.....	v
----------------	---

第 1 章・システムの概要

Relay インサーターについて	1-3
インサーターのコンポーネントの確認	1-4
タッチパネルディスプレイの確認.....	1-6
コントロールパネルのアイコン	1-8
タッチパネルの電源のオン/オフ.....	1-10
タッチパネルキーボードの使用	1-11
表示言語の変更	1-11
タッチパネルのユーザー名とパスワード	1-12
デフォルトオペレーターユーザー名の変更	1-12
既存のオペレーターパスワードの変更.....	1-13
既存のオペレーターパスワードの復元.....	1-13
既存またはデフォルトのジョブ名の変更.....	1-14
インサーター制御レポート (タッチパネル上の操作)	1-15
レポートデータ	1-15
レポートのアクセス.....	1-16
レポートのアーカイブ	1-17
部門集計レポートの印刷.....	1-17

第 2 章・ジョブの設定

タッチパネルを使用したナビゲーション.....	2-3
スキャンジョブと非スキャンジョブ	2-4
ジョブの設定	2-5
ログイン.....	2-5
スーパーバイザーアクセスコードの入力	2-5
ジョブ番号の選択 (新規または既存ジョブ)	2-5
スキャンジョブの設定	2-6
非スキャン以外のジョブ設定	2-14
既存ジョブの変更.....	2-23
ジョブの削除.....	2-23

目次

第 3 章・ジョブの実行

ジョブの実行	3-3
インサーターに電源が入っていることの確認	3-4
タッチパネルをオンにする	3-4
ログイン	3-4
ジョブの選択	3-5
手動フィードジョブ	3-6
用紙のセット	3-7
シートフィーダーの調整と用紙のセット	3-7
封筒フィーダーの調整とセット	3-8
インサートフィーダーの調整とセット	3-10
トライアルの実行	3-12
トライアルおよびリンクフィード	3-12
操作中の用紙変更または二重検知の問題	3-12
インサーターのスタートおよび停止	3-13
シーラーの充填	3-14
スタッカーの調整	3-14

第 4 章・OMR スキャン

光学的マーク読み取り (OMR)	4-3
正確性	4-3
OMR とフィーダー	4-3
OMR スキャンのタイプ	4-4
基本 OMR	4-4
拡張 OMR	4-4
OMR のマーク位置	4-4
OMR の仕様	4-5
標準の OMR 位置	4-6
オフセットの OMR 位置	4-7
使用可能な OMR マーク	4-8
ベンチマーク	4-8
セーフティ	4-8
名寄せの終了 (EOC)	4-8
名寄せの開始 (BOC)	4-8
パリティ	4-8

リタイミングマーク	4-8
選択フィード (SF1、SF2)	4-9
オートバッチ	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)	4-9
OMR マークのグループ	4-10
内三つ折りジョブ および 四つ折りジョブ	4-10
外三つ折りジョブ および 二つ折りジョブ	4-11
OMR スキャナーの調整	4-12
OMR のトラブルシューティング	4-14
OMR ジョブのエラーリカバリー	4-14
名寄せジョブのエラーリカバリー	4-14
フィーダーが空の場合のエラーリカバリー	4-14
OMR のエラーメッセージ	4-15

第 5 章・バーコードスキャン

バーコードスキャン	5-3
バーコードスキャンの動作方法	5-3
1D および 2D バーコードスキャン	5-3
バーコードスキャンを使用するジョブ	5-4
バーコードオプション	5-4
基本バーコードの読み取り (1D バーコードのみ)	5-4
拡張バーコードの読み取り (2D バーコードのみ)	5-4
バーコードの配置仕様	5-5
バーコードの配置エリア	5-5
バーコードゾーン - クリアゾーンと空白ゾーン	5-7
2D バーコードカメラの設定	5-8
2D バーコードカメラをオンにする	5-8
2D バーコードカメラの位置調整	5-9
2D バーコードスキャンの最終チェックリスト	5-10
バーコードエラーメッセージ	5-11
2D バーコードの仕様	5-12
用紙の仕様	5-12
2D バーコードの仕様	5-12

目次

第 6 章・紙詰まり解消

紙詰まりの解消	6-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去	6-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け	6-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け	6-4
インサートトレイ - 取り外しと取り付け	6-4
キャリッジアセンブリへのアクセス	6-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス	6-5
封筒排出エリアへのアクセス	6-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス	6-6
シートフィードエリアへのアクセス	6-6

第 7 章・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

トラブルシューティング全般	7-3
シーラーユニットのフェルトの交換	7-7
エラーメッセージ	7-9

第 8 章・マテリアルの仕様

マテリアルの仕様	8-3
シートフィーダー	8-3
インサートフィーダー	8-5
シーラー	8-5
スタッカー	8-5
用紙要件	8-5
封筒フィーダー	8-6
マシンの仕様	8-7
サービス	8-8

1・システムの概要

目次

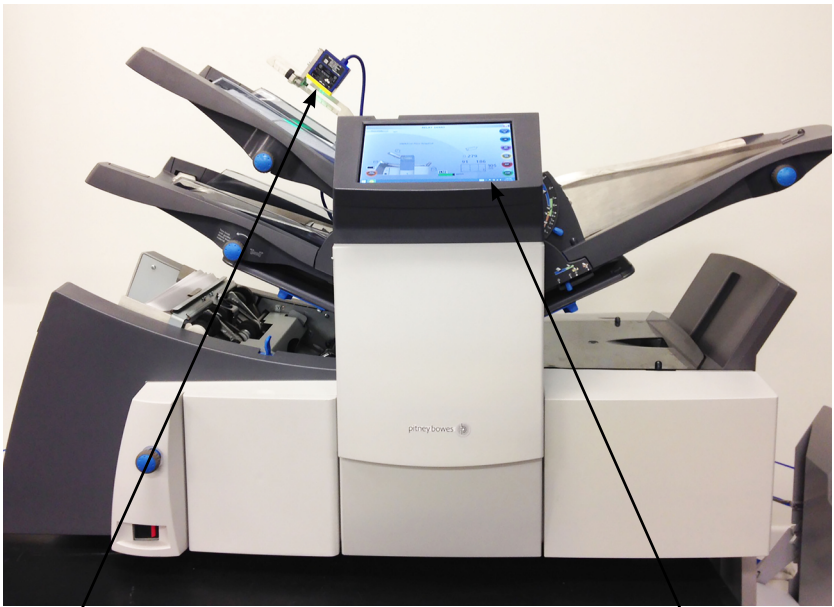
Relay インサーターについて	1-3
インサーターのコンポーネントの確認	1-4
タッチスクリーンディスプレイの確認	1-6
コントロールパネルのアイコン	1-8
タッチスクリーンの電源のオン/オフ	1-10
タッチスクリーンキーボードの使用	1-11
表示言語の変更	1-11
タッチスクリーンのユーザー名とパスワード	1-12
デフォルトオペレーターユーザー名の変更	1-12
既存のオペレーターパスワードの変更	1-13
既存のオペレーターパスワードの復元	1-13
既存またはデフォルトのジョブ名の変更	1-14
インサーター制御レポート （タッチスクリーン上の操作）	1-15
レポートデータ	1-15
レポートのアクセス	1-16
レポートのアーカイブ	1-17
部門集計レポートの印刷	1-17

このページは意図的に空白になっています。

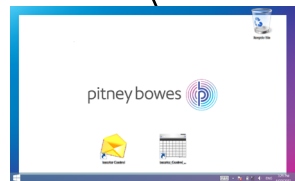
Relay インサーターについて

Relay 3000 および 4000 インサーターには、タッチパネル機能およびバーコードスキャン機能が搭載されています。タッチパネルはRelay4000では標準搭載、Relay3000ではオプションとして提供されています。バーコードスキャン機能を使用するにはタッチパネルが必要となり、両システム共にオプションとして提供されています。

タッチパネル技術を活用することにより、ジョブの設定およびインサーターの使用が容易になります。拡張バーコードスキャンは、バーコード情報を読み取り、インサーターによる郵便物の整合性を維持します。



バーコードスキャン

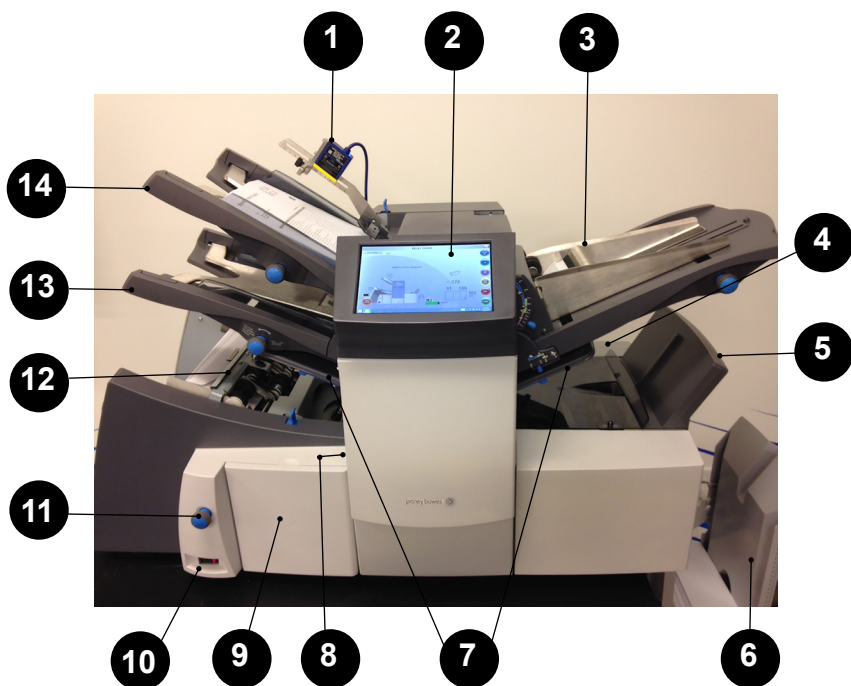


タッチパネルによる管理

注：Relayインサーターのタッチスクリーンは、Wi-Fi対応機器です。このネットワーク接続機能をご使用になる場合には、お客様の責任でIT部門の基準に準拠した設定を行ってください。

1 ● システムの概要

各部の名称

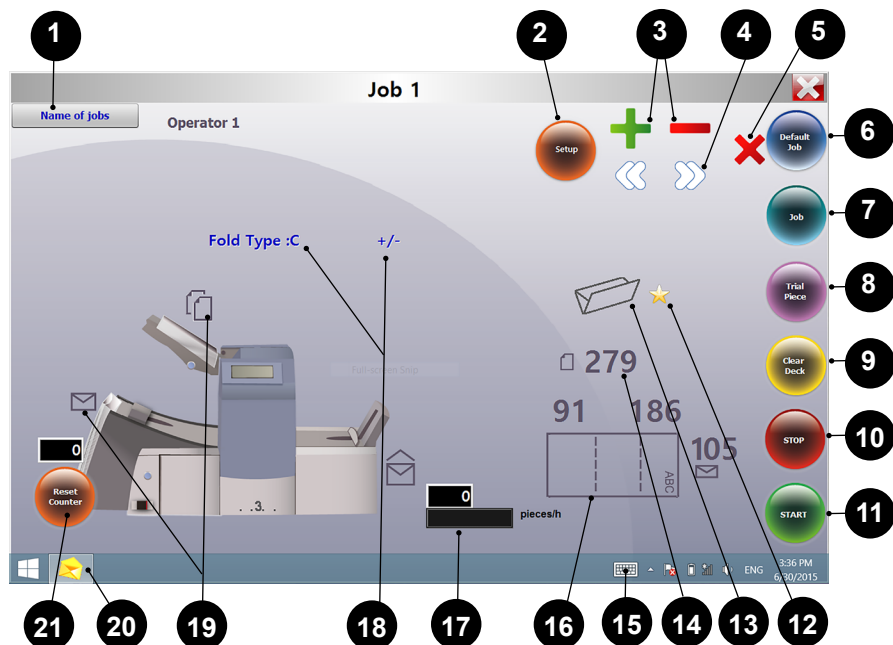


1	2D カメラ - バルコードキャラクタを郵便物処理情報に変換します。
2	タッチパネルディスプレイ-このインターフェースを使用して、コマンドの入力、ジョブ設定、および設定の変更を行います。ディスプレイに表示される記号およびアイコンは、インサーターの設定状況を示します。
3	インサートフィーダー-このフィーダーを使用して、封筒に封入物を追加します。このフィーダーからフィードした用紙を折ることはできません。このフィーダーは、折り済みまたは厚手の封入物のフィードを行います。
4	封かん水ボトル - 封かん水ボトルは、マシンの右側にあります。このボトルはヒンジ付きカバーの内側にあります。封かん水ボトルにはシーラーに供給する封かん水が入っています。
5	封筒インバーター - 表面を上にして封筒をスタッカーに排出します。

6	<p>ドロップスタッカーまたは排紙装置—インサーターの出口側にあり、完成した郵便物を収集します。ご使用していないときには畳むことができます。また、標準のドロップスタッカーよりも容量が大きいパワースタッカーも取り扱っています。</p>
7	<p>紙折りプレート1および2—シートフィーダーからフィードされた用紙を目的に合わせて折ることができます。紙折りプレートは、コントロールパネルで設定した折り形状/寸法に自動的に設定されます。</p>
8	<p>スケール—このスケールは、マシンの左側のシートフィーダー付近にあり、用紙や封筒を計測できます。</p>
9	<p>手動搬送つまみ — つまみはマシンの前方左下隅にあるカバーの下にあります。このつまみを使用してインサーターの構造を手で回し、用紙を取り除きます。</p>
10	<p>電源スイッチ—このスイッチでマシンの電源をオン/オフにします。</p>
11	<p>サイドガイドの調整つまみ—このつまみを使用して、封筒フィーダーのサイドガイドを調整します。</p>
12	<p>封筒フィーダー—封入エリアに封筒をフィードします。封入エリアでは、他のフィーダーから送られた用紙が封筒に封入されます。</p>
13	<p>シートフィーダー2—紙折りが必要な用紙をフィードします。このフィーダーの機能はシートフィーダー1の機能と同様です。ただし、このフィーダーでは、手差しフィードは指定できません。</p>
14	<p>シートフィーダー1—紙折りが必要な用紙をフィードするためのフィーダーです。</p> <p>また、シートフィーダー1を手差しフィードに設定することもできます。このモードでは、最大5枚のホチキス留めされた用紙を処理できます。このインサーターは、各セットがシートフィーダー1に手差しでフィードされてから、紙折りや封入を自動的にを行います。</p>

1 ● システムの概要

タッチパネルディスプレイの確認




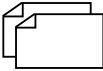



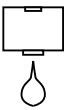



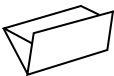


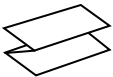
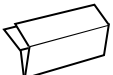
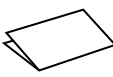
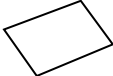


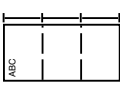
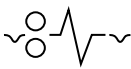
1	[ジョブ名] - ジョブ名の変更画面にアクセスします。
2	[セットアップ] - タップしてセットアップモードにアクセスし、ジョブをシステムメモリに設定し、既存ジョブのオプションを変更します。(スーパーバイザー機能、セットアップモードのみ)
3	+ - これらのアイコンをタップして、ジョブ設定に使用可能なオプションをスクロールします。(スーパーバイザー機能、セットアップモードのみ)
4	« » - これらのアイコンをタップして、使用可能なジョブ設定をスクロールします。(スーパーバイザー機能、セットアップモードのみ)
5	✗ - タップして、インサーターメモリから設定済みジョブを削除します。(スーパーバイザー機能、セットアップモードのみ)
6	[デフォルトのジョブ] - タップして、出荷時に事前設定されたデフォルトまたは標準設定にマシンを戻します。これらの設定の変更は、ピツニーボウズのカスタマーサービス担当者が実行できます。

7	<p>[ジョブ] - 繰り返しタップして、インサーターに登録されているプログラム済みジョブをスクロールし、実行したいジョブを選択します。インサーターには、最大21件のジョブを登録できます（デフォルトのジョブを含む）。</p>
8	<p>[テスト] - マシンの設定を確認するために、テストを1回実行します。自動運転を開始する前に、[スタート] ボタンを使用してテストを実行する必要があります。二重検知を使用する場合は、テストの実行時にマシンが自動的に設定します。マシンの封筒は封かんされず、1つのアイテムとしてカウントされます。</p>
9	<p>[クリアデッキ] - タップすると、紙揃えてインサーター内部から外に用紙を排紙します。また、動作が停止した際にこのボタンを押すと、インサーターから用紙が取り除かれ、自動運転が可能になります。</p>
10	<p>[ストップ] - タップして、次のサイクルの終了後に、自動運転を止めます。</p>
11	<p>[スタート] - タップして、自動運転を開始します。</p>
12	<p>ゴールドスター-設定または変更している設定アイコンの隣りに表示され、ジョブ設定のガイドとして機能します。</p>
13	<p>折りタイプアイコン- 選択された紙折りオプションを示します。</p>
14	<p>シートの長さアイコン- 紙折りされていないシートの長さを mm 単位で表示します。</p>
15	<p>キーボードアイコン- タップして、タッチパネルの下半分にフルキーボードディスプレイを表示します。</p>
16	<p>定型折りアイコン - 選択された折りタイプの折り領域を mm 単位で示します。</p>
17	<p>カウンター - 1 時間あたりに処理される郵便物の数量を表示します。</p>
18	<p>オプションアイコン- 選択された設定内に使用可能なオプションがあることを示します。</p>
19	<p>記号アイコン- フィーダーの内容物を示すアイコン例（この表示例は二重検知および封筒フィード）。</p>
20	<p>インサート管理アイコン- タップすると、表示が最初の画面に戻ります。</p>
21	<p>[カウンターリセット] - タップすると、アイテムのカウンターまたはバッチカウンターがリセットされます。</p>

1 ● システムの概要

コントロールパネルのアイコン

	シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が 実行されない ことを示します。
	シートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が 実行される ことを示します。
	インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が 実行されない ことを示します。
	インサートフィーダーで使用され、フィーダーがオンであること、および二重検知が 実行される ことを示します。
	シートフィーダー1で使用され、フィーダーが手差しフィード用に設定されていることを示します。
	封筒フィーダーが稼働できる状態であることを示します。
	封筒ストップの設定（1～5）を示します。
	封かんボトルに水を補充する必要があることを示します。
	封筒の深さ寸法を示します。
	シーラーユニットがオフであること（封筒は封かんされません）を示します。
	シーラーユニットがオンであること（封筒は自動的に封かんされます）を示します。
	内三つ折りが選択されていることを示します。

	<p>外三つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>四つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>二つ折りが選択されていることを示します。</p>
	<p>折りなしの封入操作を示します。</p>
	<p>用紙詰まりがあることを示します。ディスプレイ上のこの記号の位置は、用紙詰まりが発生している場所を示しています。</p>
	<p>このアイコンが表示された場合は、機器の販売元にお問い合わせください。</p>
	<p>シートフィーダーに設定されている用紙サイズ、挿入する用紙の向き、および折り方を示します。</p>
	<p>パワースタッカーや郵便料金計器などの後処理工程で用紙詰まりが発生していることを示します。</p>

1 ● システムの概要

タッチパネルの電源のオン/オフ

1. タッチパネルをオンにする前に、インサーターの電源が入っていることを確認します。
2. **オン/オフ電源ボタン**を数秒間長押しします。電源ボタンは、タッチパネルのフレームの左上にあります。



注：タッチパネルがスリープモード状態の場合は、オン/オフボタンを押してください。

タッチパネルの電源オン/オフボタン





タッチパネルキーボードの使用

注：Windowsのタスクバーがディスプレイ下部に表示されない場合は、画面下に向かって指でスワイプします。

1. キーボードを表示するには、ディスプレイの右下隅にあるタスクバーの  アイコンをタップします。
2. 該当する文字をタップして、情報を入力します。
3. キーボードを閉じるには、右上隅にある  をタップします。





大文字

- 大文字を1文字だけ入力するには、 キーを1回タップします。
- **Caps Lock** をオンにするには、 キーを2回タップします。

表示言語の変更

タッチパネルディスプレイに表示される言語を変更するには、次の手順に従います。

1. 最初の画面で  アイコンをタップします。
2. [オペレーターリスト] が表示されたら、 をタップします。
3. メニューバーから、[言語] > [プログラム] を選択します。使用可能な言語に対応する国旗を表示する画面が開きます。
4. タッチパネルで表示したい言語を示す国旗をタップします。（この画面は自動的に閉じ、表示は新しく選択された言語に切り替わります。）

1 ● システムの概要





タッチパネルのユーザー名とパスワード

オペレーターおよびスーパーバイザーは、オペレーターユーザー名とオペレーターパスワードの変更ができます。

注：スーパーバイザーのパスワードは、システムをインストールするカスタマーサービス担当者より提供されます。スーパーバイザーのパスワードは、変更できません。







デフォルトオペレーターユーザー名の変更

それぞれのオペレーターに、一意のユーザー名が必要です。この手順を使用して、既存のデフォルトオペレーターユーザー名を特定のオペレーターユーザー名に変更することができます。最大10名のオペレーターをタッチパネルに設定できます。

1.  アイコンを 2 回タップします。
2. **【オペレーターリスト】** が表示されたら、名前を変更するデフォルトオペレーターを選択します（通常「オペレーター1～オペレーター10」として表示される）。
3. キーボードを起動するには、 アイコン（画面の右下隅）をタップして、フィールドにスーパーバイザーまたはオペレーターのパスワードを入力します。（ をタップしないでください。）
4. メニューバーから、**【ファイル】** > **【オペレーター】** > **【変更】** を選択します。
5. タッチパネルキーボードを使用して、新しいオペレーター名を入力します。
6.  をタップします。





既存のオペレーターパスワードの変更

この手順を使用して、既存のオペレーターパスワードを変更できます。

1.  アイコンを 2 回タップします。
2. **[オペレーターリスト]** が表示されたら、オペレーターユーザー名を選択して  をタップします。
3. ディスプレイの右下隅にある  アイコンをタップしてキーボードを表示し、フィールドにオペレーターのパスワードを入力します。 ( をタップしないでください。)
4. メニューバーから、**[ファイル]** > **[パスワード]** > **[変更]** を選択します。
5. タッチパネルキーボードを使用して新しいパスワードを入力し、確認のために同じパスワードを再入力します。
6.  をタップします。
7.  をタップします。

既存のオペレーターパスワードの復元







この設定には、スーパーバイザーレベルのアクセスが必要です。

1.  アイコンを 2 回タップします。
2. **[オペレーターリスト]** が表示されたら、パスワードを紛失したオペレーター名を選択して、 をタップします。
3. タッチパネルキーボードをタップして、スーパーバイザーのパスワード (71) をフィールドに入力します。 ( をタップしないでください。)
4. メニューバーから、**[ファイル]** > **[パスワード]** > **[復元]** を選択します。復元されたパスワードがダイアログボックスに表示されます。(今後の参照のために、パスワードを記録しておいてください。)
5. **[OK]** をタップして、ダイアログボックスを閉じます。
6. 復元されたパスワードをパスワードフィールドに入力して、 をタップします。

1 ● システムの概要

既存またはデフォルトのジョブ名の変更

新しいジョブを作成すると、新しい名前がデフォルトジョブに割り当てられます。オペレーターまたはスーパーバイザーはジョブの名前を変更できます。

1.  アイコンを 2 回タップします。
2. **【オペレーターリスト】** が表示されたら、オペレーターを選択して  をタップします。
3. ディスプレイの右下隅にある  アイコンをタップしてキーボードを表示し、フィールドにオペレーターのパスワードを入力します。
4.  をタップします。
5. メインコントロール画面で、スクリーンの左上隅にある **【ジョブ名】** ボタンをタップします。
6. **【ジョブ名】** リストでジョブをハイライトして、**【変更】** をタップします。
7. タッチパネルキーボードを使用して、フィールドに新しいジョブ名を入力します。
8.  をタップして新しいジョブ名を確定し、 をもう1回タップして終了します。

1 ● システムの概要

レポートのアクセス

ユーザーはタッチパネルからログインしなくてもインサーターレポートにアクセスできます。レポートデータにアクセスするには、2つの方法があります。特定の日付（1日または複数日）を選択するか、特定のジョブ（1つまたは複数のジョブ）を選択できます。

日付別の選択

1日または複数の日付別にインサーターレポートを表示するには、次の手順に従います。

1. タッチパネルデスクトップの下部にあるレポートアイコンをタップします。
2. 特定の日付からレポートを選択するには、画面の上部にある【日付別に関く】アイコンをタップします。
3. カレンダーで日付を選択すると、画面でレポートデータが作成されます。
4. データ選択のプロセスを繰り返すことにより、その他の日付の情報をレポートに含めることができます。



ジョブファイル別の選択




特定のジョブ別のインサーターレポートを表示および／または印刷するには、次の手順に従います。

1. タッチパネルデスクトップの下部にあるレポートアイコンをタップします。
2. ジョブ別のレポートを選択するには、画面の上部にある【ファイル別に関く】アイコンをタップします。
3. 該当する .CRV ファイルを参照して選択します。画面でレポートデータが作成されます。

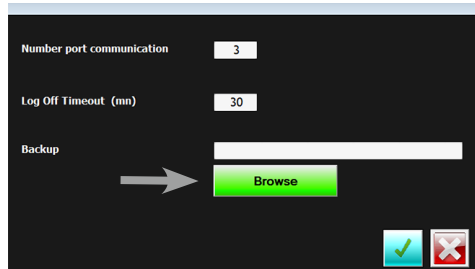


レポートのアーカイブ

タッチパネルでシステムを設定して、プレインストールされたSDカードにレポートを自動的に保存することにより、レポートをアーカイブできます。これは通常、スーパーバイザーの仕事です。

1.  アイコンを2回タップします。
2. 名を選択して、 をタップします。
3. メニューバーから【設定】をタップします。
4. 【参照】をタップして、SDドライブ（通常D:）に【バックアップ】フィールドを設定します。
5.  をタップします。

レポートは全て日付別で、SDドライブに自動的にアーカイブされます。



部門集計レポートの印刷

タッチパネルがワイヤレスネットワーク上の外部プリンターに接続されている場合は、タッチパネルから直接レポートを印刷できます。

1. 画面上にレポートデータを表示させます（日付別またはジョブ別）。
2. 印刷アイコンをタップして、レポートを印刷します。



注：レポートの印刷機能をご使用になる場合には、お客様の責任でタッチパネルをワイヤレスネットワークに接続してください。

このページは意図的に空白になっています。

2・ジョブの設定


目次




タッチパネルを使用したナビゲーション.....	2-3
スキャンジョブと非スキャンジョブ.....	2-4
ジョブの設定.....	2-5
ログイン.....	2-5
スーパーバイザーアクセスコードの入力.....	2-5
ジョブ番号の選択（新規または既存ジョブ）... ..	2-5
スキャンジョブの設定.....	2-6
スキャン以外のジョブの設定.....	2-14
既存ジョブの変更.....	2-23
ジョブの削除.....	2-23

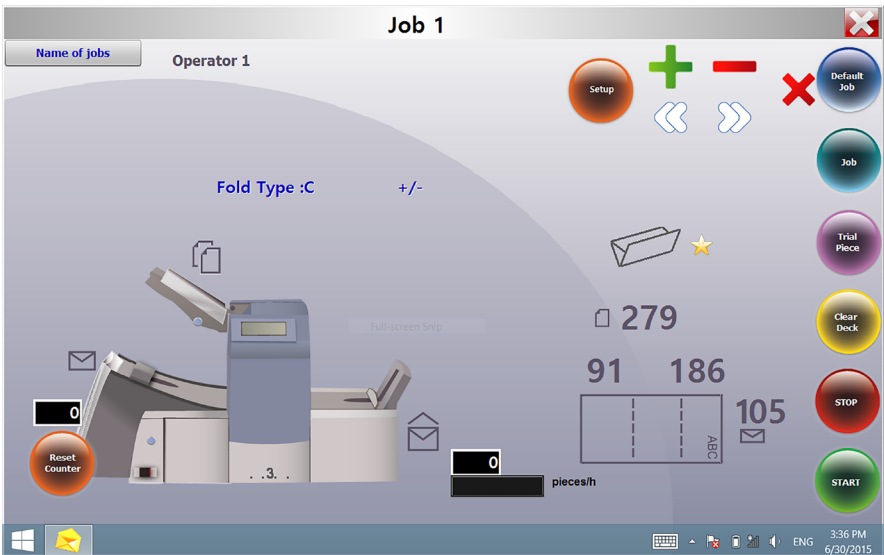
このページは意図的に空白になっています。

このセクションでは、タッチパネルを使って、新しいスキャンジョブまたはスキャン以外のジョブを設定して保存する手順について説明します。ジョブの設定は通常、スーパーバイザーの仕事です。

タッチパネルを使用したナビゲーション

設定シーケンス中の視覚的ガイドとして、ディスプレイ上の設定するエリアの横に  アイコンが表示されます。

-  アイコンをタップしてスクロールし、使用可能な設定を選択します。
- 目的の設定が表示されたら、 アイコンをタップして、選択された設定の使用可能なオプションまたは値をスクロールします。
-  をタップして選択内容を確定し、次の設定に進みます。



注：アイコンの場所および説明については、このガイドの「システムの概要」セクションを参照してください。

2 ● ジョブの設定

スキャンジョブと非スキャンジョブ

システムでスキャン機能（OMR またはバーコード）が有効になっている場合は、オペレーターはジョブに応じてスキャンのオンとオフを切り替えられます。スキャン機能がお使いのインサーターで使用できない場合は、ジョブ設定が若干異なります。

次の表を参照してジョブタイプに該当する手順を確認し、このセクションに記載されている手順に従います。






スキャンジョブおよびスキャン以外のジョブのシーケンス

スキャンジョブ	非スキャンジョブ
スキャンを有効化する (OMR オンまたはオフ)	インサーターで実行可能な場合は、スキャンを無効化する (OMR オフ)
折りタイプの設定	折りタイプの設定
メイン (スキャン) シートフィーダーの設定	名寄せの設定
第2/セカンドシートフィーダー、またはインサートフィーダーの設定	第1/メインシートフィーダーの設定
シーラーの設定	第2/セカンドシートフィーダーの設定
用紙の長さの設定	インサートフィーダーの設定
折り A / 折り B の位置の設定	モードタイプの設定 (封入または紙折り)
封筒の高さの設定	シーラーの設定
封筒ストップ位置の設定	用紙の長さの設定
バッチカウンターの設定	折り A / 折り B の位置の設定
ジョブ設定の確認	封筒の高さの設定
テストの実行	封筒ストップ位置の設定
	バッチカウンターの設定
	ジョブ設定の確認
	テストの実行




ジョブの設定

ログイン

スーパーバイザーレベルのアクセスでログインします。




1. タッチパネルの下部にある  アイコンを 2 回タップします。
2. **[オペレーターリスト]** が表示されたら、未使用のスーパーバイザーのユーザー名またはオペレーター（通常オペレーター1~オペレーター10まで表示される）を選択します。
3.  をタップします。
4. ディスプレイの右下隅にある  アイコンをタップしてキーボードを表示し、フィールドにスーパーバイザーのパスワード（71）を入力します。
5.  をタップします。メインコントロール画面が開きます。
6. 右上隅の  をタップして、キーボードを閉じます。

スーパーバイザーアクセスコードの入力

1. **[セットアップ]** ボタンをタップします。インサーターモデルの場合は、タッチパネルに **[アクセスコードの入力]** フィールドが表示されます。
2.   アイコンをタップして、値を増減して 71 に設定します。
3.  を押してアクセスコードを確定し、ジョブの設定に進みます。

ジョブ番号の選択（新規または既存ジョブ）

ジョブ番号を求めるメッセージが表示された場合は、次の手順に従ってジョブを選択または作成します。既存のジョブを選択して現在の設定を上書きするか、未使用のジョブを選択して新しい設定をプログラミングできます。




1.   アイコンを使って、目的のジョブ番号が見つかるまで、ジョブ番号をスクロールします。（未使用のジョブを特定するには、画面にセットアップ記号が何も表示されなくなるまで、ジョブをスクロールします。）
2.  をタップしてジョブ番号を確定し、最初の設定に進みます。

注：既存のジョブ番号を使用する場合は、古い設定が追加する新しい設定に上書きされます。

2 ● ジョブの設定

スキャンジョブの設定

スキャンを有効にする（OMR オンまたはバーコード）

1. 要求メッセージが表示されたら、  アイコンをタップして、**【OMR オン】** 設定のいずれかを選択します。（以下の OMR 設定表を参照してください。）
2.  をタップして選択内容を確定し、次の設定に進みます。

スキャン設定表 (OMR およびバーコード)

OMR 設定の一部が、OMR およびバーコードスキャンジョブの両方に適用するために設定されています。バーコードのスキャンアプリケーションを実行している場合は、バーコードスキャンに適用する OMR 機能を使用します。

OMR およびバーコード設定表

OMR 設定	説明
OMR オフ	このジョブではOMRまたはバーコードスキャンはオフになります。
OMR オン	このジョブでは、標準OMRのマーク位置で、OMRまたは基本バーコードスキャンが有効になります。
OMR + シーケンス	このジョブでは、標準OMRマーク位置で、OMRスキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR+セレクトフィード	このジョブでは、標準OMRマーク位置で、OMRスキャンとセレクトフィード/オートバッチが有効になります。
OMR+セレクトフィード + シーケンス	このジョブでは、標準OMRマーク位置で、OMRスキャンとセレクトフィード/オートバッチ、およびラップアラウンドシーケンススキャンまたは拡張バーコードスキャンが有効になります。
OMR オフセット オン	このジョブでは、オフセットOMRマーク位置で、OMRスキャンがオンになります。
OMR オフセット + シーケンス	このジョブでは、オフセットOMRマーク位置で、OMRスキャンとラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。
OMR オフセット + セレクトフィード	このジョブでは、オフセットOMRマーク位置で、OMRスキャンとセレクトフィード/オートバッチが有効になります。
OMR オフセット + SF + シーケンス	このジョブでは、オフセットOMRマーク位置で、OMRスキャンとセレクトフィード/オートバッチ、およびラップアラウンドシーケンススキャンが有効になります。



注：使用可能なオプションは、お使いのインサーターのスキャン機能によって異なります。

注：バーコードスキャン機能を使用する場合に、1枚の封筒にこのフィーダーからフィードできる最大ページ数は、インサーターの制限値内となる必要があります。

注：シートフィーダーオプションの **[二重検知オン]** および **[SFオン]** は、バーコードスキャン機能を使用する場合はサポートされません。

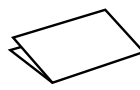
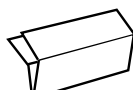
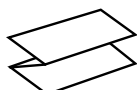
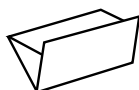
2 ● ジョブの設定

折りタイプの設定

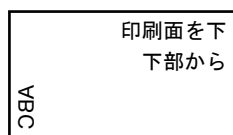
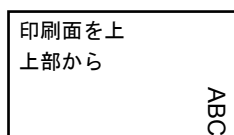
1.  アイコンをタップして、折りタイプをスクロールします。
2.  をタップして折りタイプを確定し、次の設定に進みます。

折りタイプ



C - 内三つ折り Z - 外三つ折り 四つ折り 二つ折り





折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイで示されます。



メイン (スキャン) シートフィーダーの設定



1.  アイコンをタップして、オプションをスクロールします。
2.  をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。

メインシートフィーダー 1 オプション (スキャンジョブ)

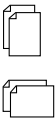
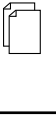
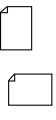

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。(二重検知器は、同時に2枚以上のシートがフィードされると停止します。)
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。

セカンドシートフィーダーまたはインサートフィーダーの設定

セレクトフィードを使用すると、封筒あたり1枚のシートをいずれかのフィーダーからフィードすることができます。

1.  アイコンをタップして、オプションをスクロールします。（詳細については、追加フィーダーオプション、スキャンジョブ表を参照してください。）
2.  をタップしてオプションを確定し、シーラー設定に進みます。

追加フィーダーオプション（スキャンジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知器は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	SF二重検知オン（二つ折りまたはZ折りでは非表示）	二重検知器が動作した状態で、選択フィーダーをオンにします。（二重検知機能により、フィーダーから同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターが動作を停止します。）
	SFオン（二つ折りまたはZ折りの場合は表示されません）	二重検知器が動作しない状態で、選択フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。
	オン（二つ折りまたはZ折りでは非表示）	二重検知器またはセレクトフィードが動作しない状態で、フィーダーをオンにします。




スキャンフィーダーの設定：

- シートフィーダー1がメイン/スキャンフィーダーに設定されている場合-シートフィーダー2を使用したり、通常のフィード（封筒毎に1枚のシート）またはセレクトフィード用にインサートフィーダーを使用したりできます。
- シートフィーダー2がメイン/スキャンフィーダーに設定されている場合-シートフィーダー1を使用したり、通常のフィード（封筒毎に1枚のシート）またはセレクトフィード用にインサートフィーダーを使用したりできます。



2 ● ジョブの設定

シーラーの設定




この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。封筒を封かんするかどうかを選択します。

1.   アイコンをタップして、オプションの**オン**と**オフ**を切り替えます。
2.  をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。

シーラーのオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Zシール®または水がいっぱいに入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。

用紙の長さの設定




1. インサーターカバーの側面にあるスケールを使用して、用紙の長さを測ります。
- A4 用紙 - 297 mm
2.   アイコンをタップして、紙の長さをスクロールします (mm 単位で表示)。
3.  をタップして用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。




折り A の設定

1. 最初の紙折りの位置を選択します。

注：折りタイプと用紙の長さに対して均等折りの設定が表示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。




2. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで   アイコンをタップします。  アイコンが、設定している紙折りパネルの隣りに表示されます。


注：インサーターの仕様に応じて、現実的に折り可能な位置を自動的に行います。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さと同インサーターの仕様に応じて自動的に正しく変更されます。

3.  をタップして折りの値を確定し、次の設定に進みます。




折り B の設定

1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。

2. 標準設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで   アイコンをタップします。  アイコンが、設定している紙折りパネルの隣りに表示されます。

3.  をタップして折りの値を確定し、次の設定に進みます。
 - **封入ジョブ** - 続行して封筒の高さの設定に進みます。
 - **紙折りのみのジョブ** - 他に必要なジョブ設定はありません。「ジョブ設定の確認」にスキップします。



封筒の高さの設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の高さを測定します。
2.   をタップして、計測値をスクロールします (mm 単位で表示)。
3.  をタップして値を確定し、次の設定に進みます。

2 ● ジョブの設定

封筒ストップの設定


注：停止ストップには1～5の5つの位置があります。通常の高重量の用紙に標準の折りを加える場合、3が標準の設定になります。薄手の軽量の用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。


1.  アイコンをタップして、封筒ストップの位置をスクロールします。
2.  をタップして位置を確定し、次の設定に進みます。


バッチカウンターの設定

バッチカウンターを使用して、あらかじめ決められた一定量の処理を自動的にを行います。バッチ処理が完了すると、インサーターは自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、[カウンターリセット] が押されるまで、処理されたアイテムの数を単純にカウントします。


1. [スタート] ボタンをタップして、次のバッチの処理を開始します。
2.  アイコンをタップして、バッチモードのオンとオフを切り替えます。

注：バッチカウンターがオンになっている場合、インサーターによってバッチ数量が確認されます。デフォルトの数量は50です。ただし、 アイコンをタップして、任意の値を選択できます（最大 999）。

3.  をタップして、設定を確定します。

ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。タッチパネルにはジョブの設定完了確認画面が表示されます。



1. ジョブ設定を確認します。
2. 設定が間違っている場合は、 アイコンをタップして前の場所にスクロールし、設定を変更します。
3. [セットアップ] ボタンをタップして、新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. 設定の変更が完了すると、タッチパネルに新しいジョブ設定と、「テストが必要です」というメッセージが表示されます。

5. テストを実行して、処理されたマテリアルを確認します。

注：電源を遮断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまでインサーターに保存されます。ジョブ名を変更する必要がある場合は、このガイドの「システムの概要」の章にある「ジョブ名を変更する」を参照してください。

テストの実行

テストを実行して、ジョブ設定を確認します。

1. 用紙をセットして、**【テスト】** ボタンをタップします。
2. テスト結果に応じて設定に変更を行う必要がある場合は、次の手順に従います。
 - a. **【セットアップ】** ボタンをタップします。
 - b. スーパーバイザーのアクセスレベルでログインします。
 - c.  アイコンをタップして、変更したい項目に合わせます。
 - d.  アイコンをタップして、正しい設定に変更します。
3. **【セットアップ】** ボタンをタップして設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。インサーターがこのジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。
注：設定を変更するたびに、テストを実行する必要があります。

住所が正しい位置にない - 紙折り設定の調整

テストを実行した際に住所が正しい位置に来ない場合は、「紙折り設定の調整」の表を参照して紙折り設定を微調整してください。

「紙折り設定の調整」の表

折りタイプ	住所の位置が低すぎる	住所の位置が高すぎる
C - 内三つ折り	折り A を減らす	折りAを増やし、折りBを同じだけ増やす
Z - 外三つ折り	折り A を増やす	折りAを減らし、折りBを同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
四つ折り	折り A を減らす	折り A を増やす

紙折り位置は 5 mm ずつ調整することをお勧めします。

2 ● ジョブの設定

非スキンのジョブの設定

非スキンのジョブを設定するには、次の手順で行います。

注：システムでスキャンを実行できない場合は、「名寄せの設定」から始めてください。

スキャン機能（OMR オンまたはバーコード）を、無効にします。

システムでスキャン機能が有効になっている場合は、[OMRオフ] に設定します。

1. 要求メッセージが表示されたら、**+** **-** アイコンをタップして、[OMRオフ] を選択します。
2. **»** をタップして選択内容を確定し、次の設定に進みます。

折りタイプの設定

1. **+** **-** アイコンをタップして、折りタイプをスクロールします。
2. **»** をタップして折りタイプを確定し、次の設定に進みます。

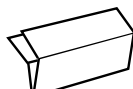
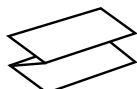
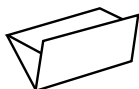
折りタイプ

C - 内三つ折り

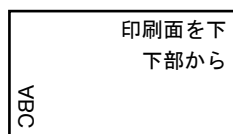
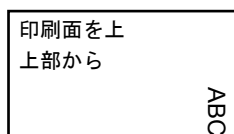
Z - 外三つ折り

四つ折り

二つ折り







折りタイプを選択すると、用紙をフィーダーにセットする際の正しい方向がディスプレイに表示されます。



名寄せの設定

[名寄せ] が有効な場合、複数のシートをシートフィーダーから封筒にフィードできます。この設定は、非スキャンジョブでのみ有効です。

1.  アイコンをタップして、名寄せオプションをスクロールします。
2. 名寄せをオンに設定した場合は、次の手順で行います。
 - a.  をタップして、各封筒にフィードする用紙の数を設定します。(名寄せ = 2~5)
 - b.  アイコンをタップして、用紙の数を入力します。
3.  をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。

インサーター名寄せ設定



設定	説明
[名寄せ] : オフ	このジョブでは名寄せをオフにします。
[メインフィーダーから名寄せ]	名寄せがオンになり、シートはメインフィーダーからフィードされます。このフィーダーには、通常、住所シートがセットされます。
[補助フィーダーから名寄せ]	名寄せがオンになり、シートは第2/セカンドフィーダーからフィードされます。このとき、メインフィーダーから1枚の住所シートがフィードされ、それに続いて第2/セカンドフィーダーから複数のシートがフィードされます。
[名寄せ] = (2~5)	名寄せがオンの場合は、各封筒にフィードする用紙の数を選択します。

2 ● ジョブの設定






第 1 / メインシートフィーダーの設定

第 1 シートフィーダーは、折りタイプに応じて、自動的に選択されます。

- 両方のシートフィーダーを使用してシートを丁合する-C折りおよび四つ折りを指定する場合は、第 1 の（住所が記載された）文書をシートフィーダー 1 にセットします。Z折りまたは二つ折りを指定する場合は、第 1 の文書をシートフィーダー 2 にセットします。
- 1枚のシートを使用する-いずれかのシートフィーダーまたは両方のシートフィーダーを使用し、以下のシートフィーダー 1 オプション表に記載されているリンクフィーダー機能を設定します。

1.  アイコンをタップして、オプションをスクロールします。
2.  をタップして選択内容を確定し、次の設定に進みます。

第 1 / メインシートフィーダーオプション（非スキャンジョブ）




アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知器は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。
	手差しフィード （この表の後の説明を参照）	ホチキス留めされた丁合済みセットを手動でフィードできます。シートフィーダー 1 のみ可能です。
	リンク：オン	初めに、用紙は第 1 シートフィーダーからフィードされます。第 1 シートフィーダーが空になると、第 2 シートフィーダーからのフィードに自動的に切り替わります。
	リンク：二重検知オン	テストが要求された場合、両方のフィーダーに用紙をセットする必要があります。これは、テスト中に、各フィーダーから用紙がフィードされるためです。

手差しフィードオプション



- 手差しフィードを設定すると、ホチキス留めされた最大5枚のシートセット（セットあたり最大400g/m²）を処理することができます。紙折り後のセットの最大の厚みは、2 mm以下である必要があります。
- インサーターは、各セットがシートフィーダー1に手動で挿入されると、自動的に折って封入します。
- 手差しフィードモードの実行中、シートフィーダー2は操作できなくなります。
- 手差しフィードのオプションは、[名寄せ] が [オフ] に設定されている場合にのみ有効です。

第2/セカンドシートフィーダーの設定

第2 シートフィーダーを使用する場合は、次の設定を行います。

-   アイコンをタップして、オプションをスクロールします。（第2/セカンドシートフィーダーのオプション、非スキャンのジョブの表に記載されている説明を参照）
-  をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。



第2/セカンドシートフィーダーのオプション（非スキャンのジョブ）

アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知器は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。



2 ● ジョブの設定

インサートフィーダーの設定

インサートフィーダーを使用するかどうか、またその使用方法を選択します。

1.  アイコンをタップして、オプションをスクロールします。（インサートフィーダーオプション表に記載されている説明を参照してください。）
2.  をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。

インサートフィーダーのオプション



アイコン	オプション	説明
	二重検知オン	二重検知器が動作した状態で、フィーダーをオンにします。（二重検知器は、同時に2枚以上のシートがフィードされるとインサーターを停止します。）
	オン	二重検知器が動作しない状態で、フィーダーをオンにします。
	オフ	このジョブではフィーダーをオフにします。

モードタイプの設定 - 封入または折りのみ

この設定は、[名寄せ] がオフの場合のみ表示されます。

インサーターでは、用紙の封入が必要なジョブであるかどうか、または紙折りのみのジョブであるかどうかを指定する必要があります。

モードタイプを設定するには、以下の手順に従います。



1.  アイコンをタップして、オプションを切り替えます。
 - **封入モード**
通常の封入ジョブを実行するために、封筒フィーダーが有効になります。
 - **紙折りのみモード**
封筒フィーダーをオフにして、インサーターが紙折り機として機能するように設定します。
2.  をタップしてモードタイプを確定し、次の設定に進みます。

シーラーの設定

この設定は、封入モードが選択されている場合にのみ表示されます。

1. 封筒を封かんするかどうかを選択します。
2. **+** **-** アイコンをタップして、オプションのオンとオフを切り替えます。
3. **⇒** をタップしてオプションを確定し、次の設定に進みます。
 - シートフィーダーのいずれかを選択した場合は、[用紙の長さの設定]に進みます。
 - インサートフィーダーのみを使用している場合、紙折りは選択できません。次のプログラム設定では、[封筒の高さの設定]にスキップします。

シーラーのオプション

アイコン	オプション	説明
	オン	封筒を自動的に封かんするために、シーラーユニットがオンになります。シーラーのボトルに、E-Zシール®または水がいっぱいに入っていることを確認します。
	オフ	シーラーユニットがオフになります。封筒は、封かんされずに排出されます。





用紙の長さの設定

1. インサーターカバーの側面にあるスケールを使用して、用紙の長さを測ります。
- A4 用紙 - 297 mm
2. **+** **-** アイコンをタップして、用紙の長さをスクロールします (mm 単位で表示)。
3. **⇒** をタップして用紙の長さの値を確定し、次の設定に進みます。







2 ● ジョブの設定




折り A の設定

1. 最初の紙折りの位置を選択します。
注：折りタイプと用紙の長さに対して均等折りの寸法が提示されます。ほとんどの場合、この設定を変更する必要はありません。
2. 標準の紙折り設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで   アイコンをタップします。  アイコンが、設定している紙折りパネルの隣りに表示されます。
注：インサーターの仕様に応じて、現実的に紙折り可能な位置を自動的に行います。折り A の長さを変更すると、折り B の寸法が用紙の長さと同様にインサーターの仕様に応じて自動的に変更されます。
3.  をタップして紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。

折り B の設定



1. 2 回目の紙折りの位置を選択します。
注：折り A 同様に、折り B の寸法が提示されます。
2. 標準設定を変更するには、目的の紙折りの位置が表示されるまで   アイコンをタップします。  アイコンが、設定している紙折りパネルの隣りに表示されます。
3.  をタップして紙折りの値を確定し、次の設定に進みます。
 - **封入ジョブ** - 引き続き封筒の高さの設定に進みます。
 - **紙折りのみのジョブ** - 他に必要なジョブ設定はないため、「ジョブ設定の確認」にスキップします。

封筒の高さの設定

1. 前面カバーのスケールを使用して、封筒の高さを測定します。
2.   をタップして、計測値をスクロールします（mm 単位で表示）。
3.  をタップして値を確定し、次の設定に進みます。

封筒ストップの設定




注：停止ストップには1～5の5つの位置があります。通常の重量の用紙に標準の折りを加える場合、3が標準の設定になります。薄手の軽量の用紙を封入する場合は、低い数値を設定する必要があります。また、厚手の重い用紙を封入する場合は、高い数値を設定する必要があります。

1.  アイコンをタップして、封筒ストップの位置をスクロールします。
2.  をタップして位置を確定し、次の設定に進みます。

バッチカウンターの設定


バッチカウンターを使用して、あらかじめ決められた一定量の処理を自動的にを行います。バッチ処理が完了すると、インサーターは自動的に停止します。

注：バッチカウンターがオンになっていない場合、ディスプレイのカウンターは、[カウンターリセット] が押されるまで、処理されたアイテムの数を単純にカウントします。

1. [スタート] ボタンをタップして、次のバッチの処理を開始します。
2.  アイコンをタップして、バッチモードのオンとオフを切り替えます。
注：バッチカウンターがオンになっている場合、インサーターによってバッチ数量が確認されます。デフォルトの数量は50です。ただし、 アイコンをタップして、任意の値を選択できます（最大 999）。
3.  をタップして、設定を確定します。

ジョブ設定の確認

これで、ジョブ設定が完了しました。ディスプレイにはジョブの設定完了確認画面が表示されます。

1. ジョブ設定を確認します。
2. 設定が間違っている場合は、 アイコンをタップして前の場所にスクロールし、設定を変更します。
3. [セットアップ] ボタンをタップして、新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。
4. 設定の変更が完了すると、タッチパネルに新しいジョブ設定と、「テストが必要です」というメッセージが表示されます。



2 ● ジョブの設定

5. テストを実行して、処理されたマテリアルを確認します。

注：電源を遮断した場合でも、ジョブ設定は変更または削除するまでインサーターに保存されます。ジョブ名を変更する必要がある場合は、このガイドの「システムの概要」の章にある「ジョブ名を変更する」を参照してください。

テストの実行

テストを実行して、ジョブ設定を確認します。

1. 用紙をセットして、**[テスト]** ボタンをタップします。
2. テスト結果に応じて設定に変更を行う必要がある場合は、次の手順に従います。
 - a. **[セットアップ]** ボタンをタップします。
 - b. スーパーバイザーのアクセスレベルでログインします。
 - c.  アイコンをタップして、変更したい項目に合わせます。
 - d.  アイコンをタップして、正しい設定に変更します。
3. **[セットアップ]** ボタンをタップして設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。インサーターがこのジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

注：設定を変更するたびに、テストを実行する必要があります。

住所が正しい位置にない - 紙折り設定の調整

テストを実行した際に住所が正しい位置に来ない場合は、「紙折り設定の調整」の表を参照して紙折り設定を微調整してください。

「紙折り設定の調整」の表

折りタイプ	住所の位置が低すぎる	住所の位置が高すぎる
C - 内三つ折り	折り A を減らす	折りAを増やし、折りBを同じだけ増やす
Z - 外三つ折り	折り A を増やす	折りAを減らし、折りBを同じだけ増やす
二つ折り	折り A を増やす	折り A を減らす
四つ折り	折り A を減らす	折り A を増やす

紙折り位置は 5 mm ずつ調整することをお勧めします。

既存ジョブの変更

既存のジョブを変更するには、次の手順に従います。（この設定には、スーパーバイザーレベルのアクセスが必要です。）

1. **【セットアップ】** ボタンをタップして、セットアップモードに入ります。
2. インサーターモデルの場合は、タッチパネルに **【アクセスコードの入力】** フィールドが表示されます。 **+ -** アイコンをタップして、71まで値を増減して調整します。
3. **⏪** をタップしてコードを確定し、ジョブの選択に進みます。
4. **+ -** アイコンをタップして、変更するジョブを表示します。
5. **⏪** をタップしてジョブ選択を確定し、ジョブの設定に進みます。
6. **⏪ ⏩** アイコンをタップして、設定をスクロールします。
7. **+ -** アイコンをタップして、オプションまたは目的の値をスクロールします。
8. **⏪** をタップして、ジョブ設定を確定します。
9. **【セットアップ】** ボタンをタップして、新しい設定を確定し、セットアップモードを終了します。

ジョブの削除

既存のジョブをインサーターシステムから削除するには、次の手順に従います。（この設定には、スーパーバイザーレベルのアクセスが必要です。）

1. **【セットアップ】** ボタンをタップして、セットアップモードに入ります。
2. インサーターモデルの場合は、タッチパネルに **【アクセスコードの入力】** フィールドが表示されます。 **+ -** アイコンをタップして、71まで値を増減して調整します。
3. **⏪** をタップしてコードを確定し、ジョブの選択に進みます。
4. **+ -** アイコンをタップして、削除するジョブを表示します。
5. **✖** をタップして、ジョブを削除します。ディスプレイに「もう一度押して確認してください」というメッセージが表示されます。
6. もう一度 **✖** をタップします。ジョブが消去される際に、「ジョブを削除しています」というメッセージがディスプレイに短く表示されます。
7. **【セットアップ】** ボタンをタップして、セットアップモードを終了します。

2 ● ジョブの設定

3・ジョブの実行

目次

ジョブの実行	3-3
インサーターに電源が入っていることの確認.....	3-4
タッチパネルをオンにする	3-4
ログイン	3-4
ジョブの選択.....	3-5
手動フィードジョブ	3-6
用紙のセット	3-7
シートフィーダーの調整と用紙のセット	3-7
封筒フィーダーの調整とセット	3-8
インサートフィーダーの調整とセット	3-10
トライアルの実行.....	3-12
トライアルおよびリンクフィード	3-12
操作中の用紙変更または二重検知の問題 ...	3-12
インサーターのスタートおよび停止	3-13
シーラーの充填	3-14
スタッカーの調整.....	3-14

このページは意図的に空白になっています。

ジョブの実行

ここで説明する操作では、ジョブがすでに設定され、Relay 3000 または 4000 インサーターに保存されていることを前提としています。（ジョブの設定は通常、スーパーバイザーの役割です。）

オペレーターがプログラム済みのジョブを実行するためにタッチパネル上で行う操作：

- インサーターに電源が入っていることを確認する
- タッチパネルをオンにする
- システムにログインする
- ジョブを選択する
- 用紙をセットする
 - シートフィーダーを調整およびセットする
 - 封筒フィーダーを調整およびセットする
 - インサートフィーダーを調整およびセットする
- テストを実行する
- ジョブを実行する
- 封かん水を充填する（必要な場合）
- スタッカーを調整する（必要な場合）



インサーターを使用する前に、このガイドの安全性に関する情報をお読みください。

3 ● ジョブの実行

電源の確認

1. 電源コードがインサーターの裏側にあるソケットに接続されていることを確認します。
2. 機械の近くにある、利用しやすいコンセントに電源コードが接続されていることを確認します。
3. 電源スイッチをオンにします。



タッチパネルをオンにする





1. タッチパネルをオンにする前に、インサーターの電源が入っていることを確認します。
2. オン/オフ電源ボタンを数秒間長押しします。電源ボタンは、タッチパネルのフレームの左上縁にあります。

注：タッチパネルがスリープモード状態の場合は、オン/オフボタンを押してください。

タッチパネルの電源オン/オフボタン



ログイン

1.  アイコンを2回タップします。
2. リストからオペレーター名を選択して、 をタップします。
3. ディスプレイの右下隅にある  アイコンをタップしてキーボードを表示し、フィールドにパスワードを入力します。
4.  をタップします。メインコントロール画面が開きます。

オペレーターはタッチパネルのメインコントロール画面を使用して、すべてのプログラム済みジョブを実行できます。

ジョブの選択

インサーターの電源をオンにしてログインすると、タッチパネルに最後に実行されたジョブと、「テストして下さい」というメッセージが表示されます。

実行するジョブを選択します。

1. 目的のジョブが表示されるまで [ジョブ] ボタンをタップしてジョブをスクロールするか、またはデフォルトのジョブ設定で処理する場合は [デフォルト] を押します。

注：デフォルトのジョブ設定を変更できるのは、ピツニーボウズのカスタマーサービスだけです。

2. 用紙をセットします - このガイドの「用紙のセット」のセクションを参照してください。
3. 用紙がすでにセットされている場合は、[テスト] ボタンをタップします。インサーターが自動的に設定され、テストが実行されます。



3 ● ジョブの実行

手差しフィードジョブ

手差しフィードジョブを選択した場合、つまりシートフィーダー1が丁合い済みセットを手差しフィードする様に設定されている場合は、シートフィーダーには用紙をセットしないでください。この場合は、必要に応じて一度に1つの丁合済みセットをフィードします。

手差しフィードジョブを実行する前に、写真に示されているようにレバーを後ろに引きます。

これによりフィード機構が開き、手動フィード操作を実行できるようになります。

注：フィーダーを自動フィードで使用する場合は、このレバーを通常的位置に戻します。



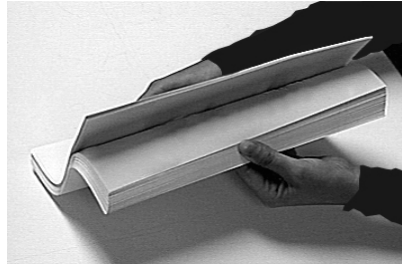
用紙のセット

シートフィーダーの調整と用紙のセット

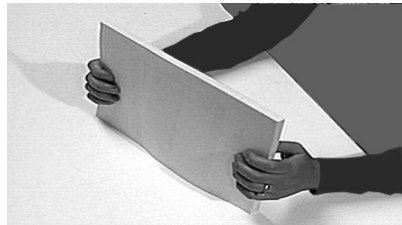
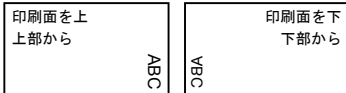
1. サイドガイドを用紙の幅に合わせて調整し、サイドガイド調整ノブを 1/4 戻します。これで、ガイドと用紙の間に適切なすき間ができます。



2. 各シートがくっつかないように、用紙の束をパラパラとめくりよくさばきます。



3. 束を軽くたたいて揃えます。ディスプレイに、用紙の正しい方向が示されます。



4. 用紙の束をフィードデッキに置きます。デッキを押し下げて、用紙の束の上端をフィードローラーの下に滑り込ませます。



3 ● ジョブの実行

封筒フィーダーの調整とセット

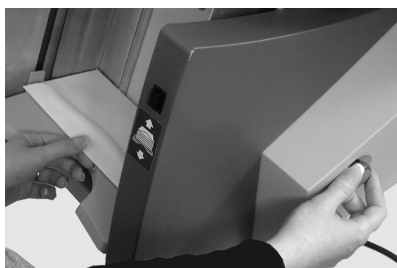
封筒フィーダーは、封入ジョブ用の封筒をフィードします。

1. フィーダートレイを下げるには、封筒フィーダーの積載スイッチを押します。

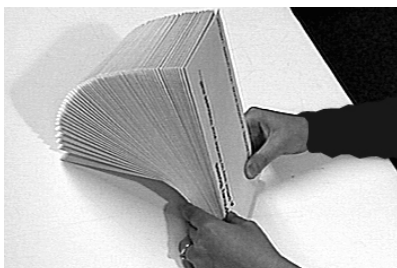


2. サイドガイド調整ノブを使用して、サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整します。調整後、調整つまみを 1/4 戻してください。

これで、ガイドと封筒の間に適切なすき間ができます。

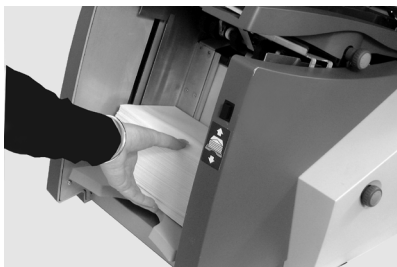


3. 各封筒がくっつかないように、封筒の束をパラパラとめくってさばきます。



4. フラップ面を上にして、フラップの反対側の端からフィードするように、封筒の束をフィーダーにセットします。

5. 封筒フィーダーの積載スイッチをもう一度押して、封筒の束を通常のフィード位置に押し上げます。



インサーターを停止しないで封筒をセットする

1. 封筒フィーダーの積載スイッチを押し、フィーダートレイを下げます。
2. このセクションの前にある説明に従って、封筒をセットします。
3. 封筒フィーダーの積載スイッチをもう一度押します。

封筒の束が通常のフィード位置に押し上げられ、処理が自動的に続行されます。



3 ● ジョブの実行

インサートフィーダーの調整と用紙のセット

インサートフィーダーは、折りを必要としないアイテムをフィードします。

1. サイドガイド調整ノブを使用して、サイドガイドを封入物の幅に合わせて調整します。調整後、調整つまみを 1/4 戻してください。

これで、ガイドとインサートの間に適切なすき間ができます。

2. インサートフィーダーにあるラベルを確認して、封入物の種類（ペラもの、返信用封筒、折り済みマテリアル、または小冊子）をアイコンとカラーインジケーターに合わせてみます。

インサートの識別

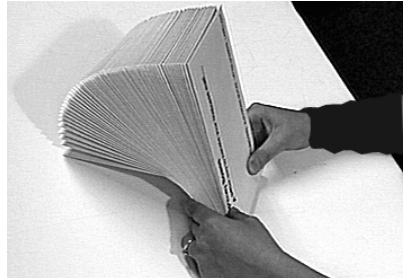
ラベルに各種の設定が記載されている場合は、厚手のインサートにはより高い数値または文字を選択することをお勧めします。

3. 青いセパレーターギャップレバーを該当する番号に設定します。

4. セパレーターシールドレバーを該当するアルファベット設定します。



5. 封入物同士がくっつかないように、封入物の束をパラパラとめくってさばきます。



6. 封入物を重ねて、フィードデッキに置きます（写真を参照）。

セットの方向は、封入物によって異なります。原則として、以下の表にある方向ガイドラインを参照して、封入物をセットします。



7. ウェッジ（用紙の支え）を下にスライドさせながら下げて封入物を支えます。





封入物のセット方向

封入物の種類	方向
ペラもの	印刷面を上、下端から入れる
返信用封筒	印刷面を上、上端から入れる
折り済みのマテリアル	印刷面を上、折り端から入れる
小冊子	印刷面を上、綴じ端から入れる

3 ● ジョブの実行

テストの実行

1. 用紙をセットして、[テスト] ボタンをタップし、設定が正しいことを確認します。
2. テストで微調整が必要な場合は、この段階でもジョブ設定を変更できます。（この設定には、スーパーバイザーレベルのアクセスが必要です。）
 - a. [セットアップ] ボタンをタップします。
 - b. アクセスコード「71」でログインします。
 - c.  アイコンをタップして、変更したい項目までスクロールします。
 - d.  アイコンをタップして、目的の数値までスクロールします。
3. [セットアップ] ボタンをタップして設定の変更を確定し、実行モードに戻ります。インサーターがこのジョブを新しい設定で保存します。
4. テストをもう一度実行して、変更した設定を確認します。

テストおよびリンクフィード

- リンクフィードを使用している場合は、テストを実行する前に、両方のシートフィーダーをセットします。
- リンクフィードが有効になっている場合は、両方のシートフィーダーから1枚ずつフィードし、2通の封書が作成されます。
- インサーターの実行時、ディスプレイには次のように表示されます：1>2>1
これにより、フィーダー間でフィードが自動的に切り替わります。

操作中の用紙変更または二重検知に関する問題

ジョブの実行中に異なる特性（重量、色合いなど）を持つ用紙をセットする場合、または二重検知に問題が発生した場合は、再度テストを実行します。テストにより、二重検知機能が新しい用紙に合わせて再調整されます。

処理の開始および停止

1. タッチパネルの【スタート】ボタンをタップして、自動処理を開始します。
2. マシンは、いずれかのフィーダーの用紙がなくなるか、タッチパネルで【ストップ】ボタンを押すまで処理し続けます。



3 ● ジョブの実行

封かん水の充填

シーラーユニットの充填が必要になると、ディスプレイに【封かん液の補充】アイコンが点滅します。



この場合は、次の手順に従って、E-Z シール[®] または水を追加します。

1. インサーターの後方右側にあるシーラーボトルのカバーを開き、ボトルを取り出します。
2. ボトルに示されているレベルまで、封かん水または水を補充します。
3. シーラーボトルを元の位置に取り付け、カバーを閉じます。



注：シーラーユニットが完全に空になった場合、新しい封かん水または水がシーラーに染み込み、操作を再開できるようになるまでには時間がかかります。

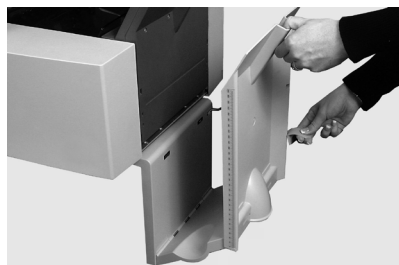
注：水垢の発生等を最小限に抑えるため、ピツニーボウズの E-Z シールを使用することをお勧めします。

スタッカーの調整

処理する材料に合わせてドロップスタッカーを調整できます。

1. スタッカーの後方にあるレバーを持ち上げ、スタッカーをいずれかのプリセット位置に合わせます。
2. レバーを下げ、スタッカーをその位置にロックします。

注：使用しないときは、スタッカーを持ち上げて、マシンの排出部にラッチで留めておくことができます。



4・OMR スキャン

目次

光学的マーク読み取り (OMR)	4-3
正確性	4-3
OMR とフィーダー	4-3
OMR スキャンのタイプ	4-4
基本 OMR	4-4
拡張 OMR	4-4
OMR のマーク位置	4-4
OMR の仕様	4-5
標準の OMR 位置	4-6
オフセットの OMR 位置	4-7
使用可能な OMR マーク	4-8
ベンチマーク	4-8
セーフティ	4-8
名寄せの終了 (EOC)	4-8
名寄せの開始 (BOC)	4-8
パリティ	4-8
リタイミングマーク	4-9
選択フィード (SF1、SF2)	4-9
オートバッチ	4-9
ラップアラウンドシーケンス (WAS1、 WAS2、WAS3)	4-9
OMR マークのグループ	4-10
内三つ折りジョブ および 四つ折りジョブ ..	4-10
外三つ折りジョブ および 二つ折りジョブ ..	4-11
OMR スキャナーの調整	4-12
OMR のトラブルシューティング	4-14
OMR ジョブのエラーリカバリー	4-14
名寄せジョブのエラーリカバリー	4-14
フィーダーが空の場合のエラーリカバリー ..	4-14
OMR のエラーメッセージ	4-15

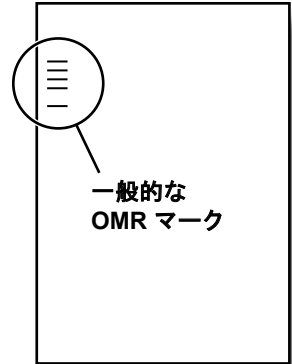
このページは意図的に空白になっています。

光学式マーク認識 (OMR)

OMR マークとは通常、用紙が搬送される向きに、淡色の用紙に印刷される濃い色の実線です。この線には、OMR スキャナーが正しく 작동するための太さと濃さが必要になります。

OMR スキャナーは OMR システムソフトウェアと連携して動作し、用紙が搬送される際に、用紙にある 1 つ以上の異なる OMR マークを確認します。これらのマークをトラッキングし、郵便物の整合性を高めます。

注：OMR ジョブの設定手順については、本書の「ジョブの設定」セクションを参照してください。



正確性

本システムの OMR は、高いレベルのエラー確認機能を使用可能です。この機能により、封筒に誤ったシートセットが封入される可能性が低くなるため、封入の正確性が大幅に向上します。

OMR とフィーダー

マシンには、各シートフィーダーにスキャンヘッドがあります。

シートフィーダーの 1 つには、OMR マークが印刷されたシートがセットされます。シートフィーダーから、1 枚の封筒あたり複数のシートをフィード可能です。

- シートフィーダー 1 は 内三つ折りおよび 四つ折り用
- シートフィーダー 2 は 外三つ折りおよび 二つ折り用

OMRにより、1つのシートフィーダーから異なる枚数をフィード、更にもう一つのシートフィーダーとインサートフィーダーから用紙をフィードする／しないの選択が可能です。

インサートフィーダーから入れる封入物は、最初のシートに挟まれて封入されます。OMR の適用により、それぞれの封筒に異なる内容物を入れることができるため、封筒内の最後のシートには、窓付き封筒で使用する場合、住所情報が含まれます。これにより、それぞれのシートセットが正しく宛先に届くようになります。

4・OMR スキャン

OMR スキャンのタイプ

基本 OMR

- 複数ページの丁合が可能になります。
- それぞれの封筒に異なる枚数の用紙を入れることができます。
- マシンはセットの最後のシートから始めて、宛先シートが封入されるまで、各OMR シートを個別に重ねて封筒に封入します。

拡張 OMR

- 実行中のシートのフィードを設定した位置で停止したり、その他のフィーダーを使用するかどうかを選択したりできます。
- より高レベルな郵便物の整合性が実現されるため、機密文書が誤った顧客に郵送されることがありません。

OMR のマーク位置

スキャナーが印刷された OMR マークを正しく読み取るために、マークはページ上の定義された範囲内に印刷する必要があります。

- **標準**の OMR 位置は、4-6ページに記載されています。
- **オフセット** OMR マークはページのさらに下に配置できます。4-7ページに記載されています。

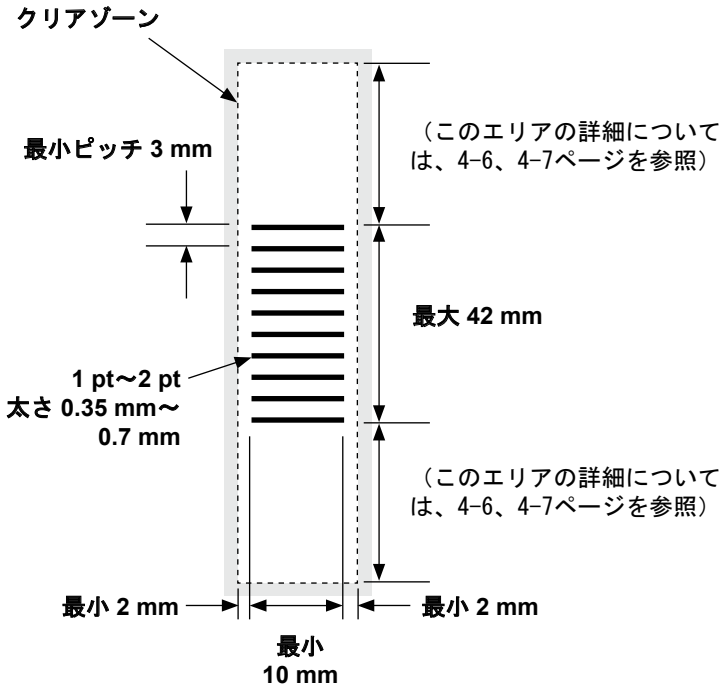
OMR の仕様

OMR マークは、太さが 1~2 pt (0.35 mm~0.7 mm)、幅が最低でも 10 mmの黒の実線でなければなりません。

各マークの位置は、3 mm以上の等間隔である必要があります。

マーク周辺の領域（クリアゾーン）には、誤ってスキャナーで読み取られる可能性のある印刷やその他のマークなどが無いようにしてください。

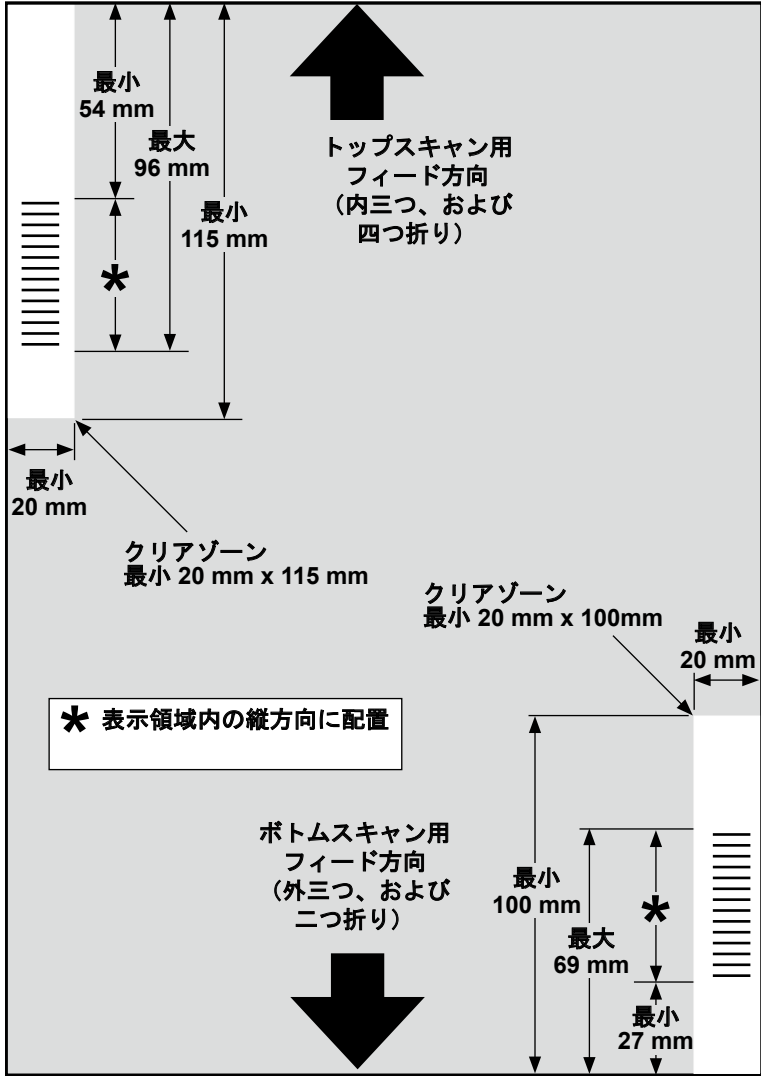
シートのクリアゾーンの真裏には、何も印刷しないようにしてください。



(注：図の縮尺は正確ではありません)

4・OMR スキャン

標準の OMR 位置

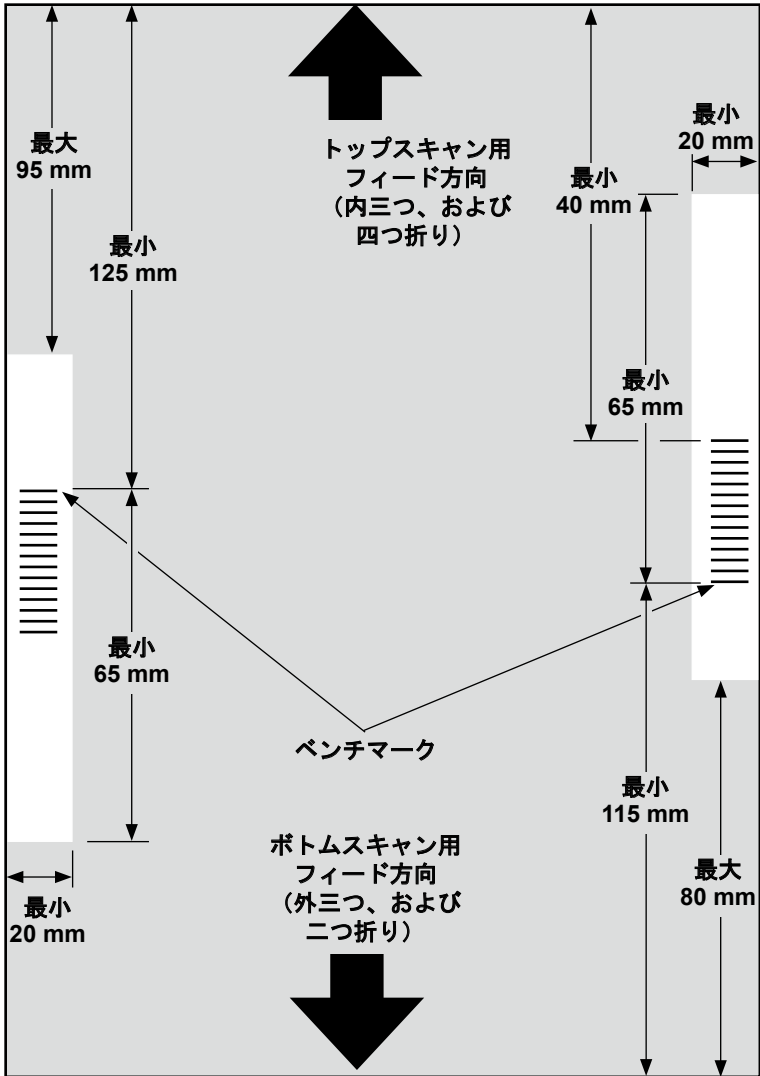


OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび 四つ折り：トップスキャン、左上隅
- ・ 外三つ折りおよび 二つ折り：ボトムスキャン、右下隅

(図は原寸ではありません)

オフセットの OMR 位置



OMR マークの位置は以下のように決めます。

- ・ 内三つ折りおよび 四つ折り：トップスキャン、左余白
- ・ 外三つ折りおよび 二つ折り：ボトムスキャン、右余白

(図は原寸ではありません)

4・OMR スキャン

使用可能な OMR マーク

このセクションでは、OMR コードに割り当て可能または割り当てが必要な OMR マークを簡単に説明します。

注：このセクションに含まれるマークの一部は、OMR機能を拡張する追加機能として使用できます。詳細は販売店にお問い合わせください。

ベンチマーク

これは必須のマークです。これはコードの最初のマークである必要があり、セット内のすべてのページに印刷されます。

セーフティ

これは、郵便物の整合性を向上させる必須のマークです。ベンチマークの直後に自動的に配置されます。

名寄せの終了 (EOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最後のシート（住所シート）であることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み取られない場合動作します。したがって、OMR コードは「Not EOC」です。

名寄せの開始 (BOC)

このマークは、このシートが丁合またはセット内でフィードされる最初のシートであることを示します。

システムはこのマークが存在しない場合に動作します。つまり、このマークがスキャナーで読み取られない場合に動作します。したがって、OMR コードは「Not BOC」です。

パリティ

このマークは、印刷されると必ずマークの合計数が偶数になるセキュリティ機能です。スキャン中にコード内のマークのどれか一つ失われると、マシンは機能を停止して、エラーを修正できるようにします。

リタイミングマーク

このマークは、OMR マークの各グループにおいて必須で、コードを構成します。（OMR マークのグループ化の説明については、このセクションの後半を参照してください）。

これにより、正確にスキャンするように再調整できます。リタイミングマークはパリティ計算でカウントされます。

選択フィード (SF1、SF2)

これらのマークは、補助シートまたは封入物がセットされているフィーダー（インサートフィーダー）からの用紙のフィードをセットごとに制御するために使用されます。

補助シートフィーダーから用紙を選択するには、**【選択フィード 1】** マークを使用します。内三つおよび 四つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 1 です。外三つおよび 二つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 2 です。

インサートフィーダーから用紙を選択するには、1 次フィーダーの **【選択フィード 2】** マークを使用します。内三つおよび 四つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 1 です。外三つおよび 二つ折りの場合、メインフィーダーはシートフィーダー 2 です。

オートバッチ

このマークは、バッチ機能を使用中に最後のバッチセットを識別します。このマークは、本機能が必要な OMR セットのすべてのシートに印刷される必要があります。

ラップアラウンドシーケンス (WAS1、WAS2、WAS3)

これは番号付けシステムで、一連のバイナリコードを使用します。必要なページが含まれていなかったり、郵便物セット内の用紙の順序が乱れている場合、システムは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

3つのラップアラウンドシーケンスマークが、コード内で使用されます。3つの 2 進数の使用により、0~7 で表記されます。ページには0~7 の番号が順に振られ、再び0に戻ります。印刷処理が行われている間は、これが繰り返されます。

4・OMR スキャン

OMR マークのグループ

それぞれの OMR コードは、2 つの固定マークである、ベンチマークおよびセーフティマークで始まります。これらのマークはセンサーに最も近い位置に配置されています。これらの後にグループ 1、2、または 3 のマークが続き、それぞれのグループは 3 つのデータマークと 1 つの固定マークで構成されます。それぞれのデータマークは必要に応じて付いていたり、付いていなかったりします。それぞれのコードは、リタイミングマークで終わる必要があります。

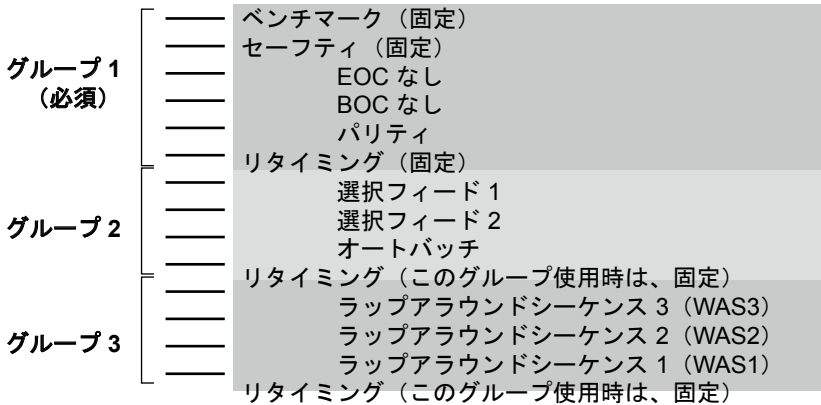
基本 OMR モードは、グループ 1 のみを使用します。**拡張 OMR モード**は、特定のジョブの必要に応じてグループ 1 とグループ 2 やグループ 3 を使用します。

内三つ折りジョブおよび 四つ折りジョブ

シートの左上隅にマークを配置します。マークは上から下の順番で印刷さ



フィード方向



れる必要があります。

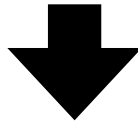
印刷

シートは丁合いの逆順に印刷される必要があります。このため、それぞ

れのセットで処理される最後のシートが住所シートとなり、最初に処理されるシートが、それぞれのセットの最後のシートとなります。

グループ 3	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
	ラップアラウンドシーケンス 1 (WAS1)
	ラップアラウンドシーケンス 2 (WAS2)
	ラップアラウンドシーケンス 3 (WAS3)
グループ 2	リタイミング (このグループ使用時は、固定)
	オートバッチ
	選択フィード 2
	選択フィード 1
グループ 1 (必須)	リタイミング (固定)
	パリティ
	BOC なし
	EOC なし
	セーフティ (固定)
	ベンチマーク (固定)

フィード方向

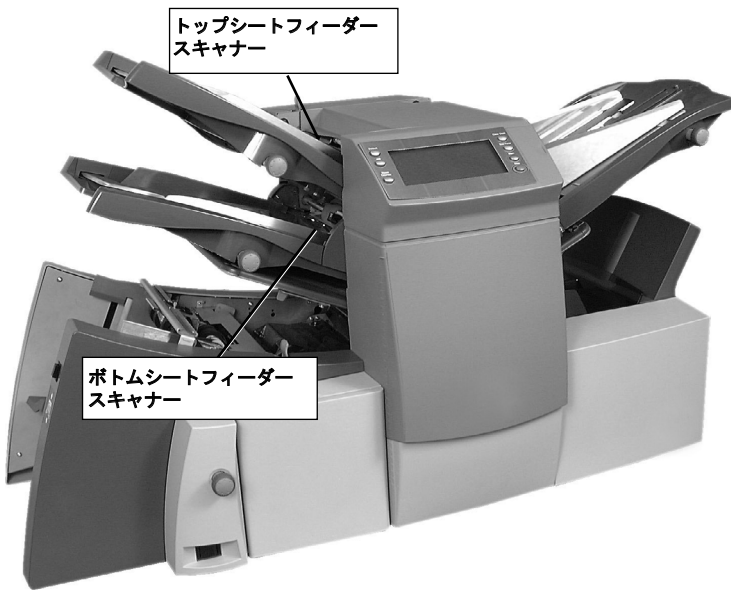


4・OMR スキャン

OMR スキャナーの調整

OMRスキャンが正常に機能するために、スキャンヘッドを用紙に印刷されているOMRマークに確実に合わせる必要があります。

1. シートフィーダー 1 のトップスキャンヘッドの位置を見つけるには、上部カバーを開けます。スキャンヘッドは、マシン後部にあります。
2. シートフィーダー 2 のボトムスキャンヘッドの位置を見つけるには、シートフィーダー 2 の下部にあるシートフィーダー 2 および紙折りプレートの両方を取り外します。スキャンヘッドは、マシンの前面に取り付けられています。

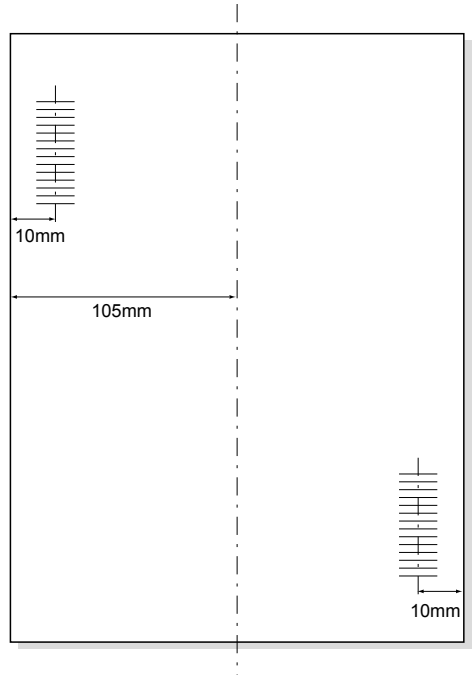


3. 用紙を 2 つ折りにして、用紙の横から中央までの長さを測ります。
 - ・ A4 サイズのシート = この長さは 105 mm になります。
4. 次に、用紙の端から OMR マークの中央までの長さを測り、この長さを半分に折った長さから引きます。

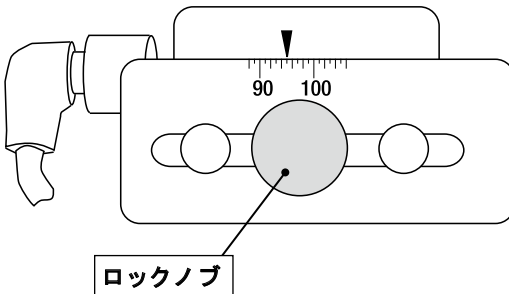
紙折りの例：

A4 サイズのシートの場合、半分に折った長さは **105 mm** になります。

用紙の端からOMRマークの中央までの長さが **10 mm** の場合、スキャンヘッド設定は**95mm** (105 mm - 10 mm) になります。



5. ロックノブを緩めて、スキャンヘッドを正しい位置にセットします。
6. ロックノブを締め直します。
7. ボトムシートフィーダースキャナーを調整した場合は、シートフィーダー2 および紙折りプレートの両方を取り付けます。



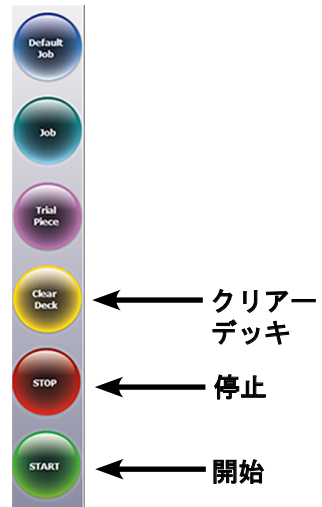
4・OMR スキャン

OMR のトラブルシューティング

OMR ジョブのエラーリカバリー

OMR ジョブ中にマシンが停止し、次のエラーメッセージのいずれかが表示された場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **【クリアデッキ】** ボタンをタップします。封入エリアにある封筒はスタッカーに排出されます。
2. 現在のセットの残りのページがフィードされ、折りが実行され、スタッカーに排出されます。必要に応じて、手で封入します。
3. 次のセットの最初のページがフィードローラーに少しフィードされ、停止します。シートを通常のフィード位置に引き戻します。
4. **【スタート】** ボタンをタップして、処理を再開させます。



名寄せジョブのエラーリカバリー

名寄せジョブ実行中にマシンが停止した場合は、次の手順を実行してください。

1. コントロールパネルで **【クリアデッキ】** ボタンをタップします。
2. 封入エリアにある封筒はスタッカーに排紙されます。フィーダーから、セットの残りのページを手で取り除きます。
3. 残りのページの折りを実行し、封入します。
4. 停止の原因を特定したら、**【スタート】** ボタンをタップして、処理を再開します。

フィーダーが空の場合のエラーリカバリー

フィーダーが用紙切れになった場合、マシンは停止します。次の手順を行います。

1. 空のトレイに用紙を補充します。
2. **【スタート】** をタップして続行するか、**【停止】** をタップしてから **【クリアデッキ】** をタップします。
3. フィーダーを再度セットしてから、必要に応じて続行します。

OMR のエラーメッセージ

メッセージ	アクション
OMR マークの間隔が間違っています	予測された長さの半分より近い間隔で2つのマークが読み取られています。用紙のスキャンマークを確認してください。
OMR マークなし	<ul style="list-style-type: none"> 用紙にマークがありません。 スキャンセンサーがスキャンマークの中心に位置していません。 用紙が正しくセットされていません。
OMR コードの長さが正しくありません	用紙のコードタイプが設定と一致していません。(例：設定が「 OMR+ シーケンス 」だが、用紙には「 OMR + 選択フィード+ シーケンス 」が設定されている。)
OMR コード形式が正しくありません	リタイミングスキャンマークがありません。用紙を確認してください。(例：10 マークコードからマーク 6 が見つかりません。)
予想されるセットの最初のシート	予測しなかったB0Cマーク (位置4) が存在します。セットの最初のページが開始ページと判断されました。
新しい封筒がありません	予測しなかったB0Cマーク (位置4) が存在しませんでした。セットの最初のページが開始ページと判断されました。
OMR : パリティエラー	コードでマークの数が偶数になっていません。
OMR : シーケンスエラー	シーケンス番号が前にフィードされたページと連続していません。シートの順番が間違っているか、シートが見つかりません。
OMR : SF マークに一貫性がありません	7~9の位置にある選択フィードおよびオートバッチマークが、このセット以前のシートのマークと異なっています。
OMR : SF が未使用	選択フィードマークが7~8 の位置にあり「プレゼンス」に設定されているのに、ジョブ設定には選択フィードを含んでいません。
OMR : セットが大きすぎます	セットに含まれているメインフィーダーからのシート数が多すぎます。
OMR : バッチの終わり 実行準備完了	<ul style="list-style-type: none"> マシンが「バッチの終了」のために停止しました。 オペレーターは手で封筒を仕分けできます。
モードの変更 フィーダーの再確認	セットアップモードを終了する前に、実行しているジョブに対するシードフィーダーとインサートフィーダーの設定を確認する必要があります。

このページは意図的に空白になっています。

5・バーコードスキャン

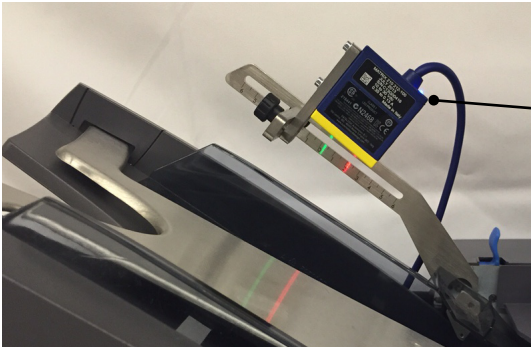
目次

バーコードスキャン	5-3
バーコードスキャンの動作方法	5-3
1D および 2D バーコードスキャン	5-3
バーコードスキャンを使用するジョブ	5-4
バーコードオプション	5-4
基本バーコードの読み取り (1D バーコードのみ)	5-4
拡張バーコードの読み取り (2D バーコードのみ)	5-4
バーコードの配置仕様	5-5
バーコードの配置エリア	5-5
バーコードゾーン - クリアゾーンと空白 ゾーン	5-7
2D バーコードカメラの設定	5-8
2D バーコードカメラをオンにする	5-8
2D バーコードカメラの位置調整	5-9
2D バーコードスキャンの最終チェックリスト	5-10
バーコードエラーメッセージ	5-11
2D バーコードの仕様	5-12
用紙の仕様	5-12
2D バーコードの仕様	5-12

このページは意図的に空白になっています。

バーコードスキャン

拡張バーコードアプリケーションは、郵便物の整合性を向上します。ジョブに関する特定の指示を含むバーコードは、1次シートセットの前面に印刷できます。記録番号、ページ番号、および総ページ数などの情報は、このコードに含まれます。



Relay インサーターに
搭載された
2D バーコードカメラ

バーコードスキャンの動作方法

バーコードシートがフィードされると、拡張バーコードに含まれる情報がマシンに送信されます。マシンはこの情報を確認し、正しいシートがフィードされ、封筒に封入されていることを確認します。必要なページがスキップされたり、用紙の順序が乱れている場合、マシンは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

1D および 2D バーコードスキャン

- 1D バーコードスキャナーは、直線状のバーコードキャラクタを読み取ってから、インサーターが郵便物を処理する指示としてデータを解釈します。
- 2D バーコードカメラは、バーコードの画像を撮ってから、インサーターが郵便物を処理する指示として情報を解読します。1D 対応の 2D カメラは、1D バーコードがカメラの最大長である 40 mm 以内である場合は、1D バーコードを解読できます。

5・バーコードスキャン

バーコードスキャンを使用するジョブ

- シートフィーダー 1（上フィーダー）には、バーコードが印刷されたシートをセットします。
- バーコードスキャン機能を使用して、複数のシートを封筒に封入できます。1 枚の封筒に封入するシート数はバーコードに含まれる情報によって決まります。
- 追加のシートまたは封入物は、バーコードスキャン機能が搭載された他のフィーダーからフィードできます。
- バーコードスキャン機能を使って処理できるのは、内三つ折りおよび四つ折りのみです。

バーコードオプション

バーコードオプションは 2 つあります。

- **基本（1D バーコードのみ）** - バーコードに含まれる一意の識別番号を使用して、新しい封筒に封入するタイミングを決定します。
- **拡張（2D バーコードのみ）** - バーコードに含まれる追加情報を使用して、郵便物の整合性を維持します。

基本バーコードの読み取り（1D バーコードのみ）

基本バーコードの読み取りは 1D（ラダー形式）バーコードのみで構成され、1D スキャナーのみで読み取ることができます。基本バーコードの読み取りは、一意の識別番号（バーコード内）の変更を識別し、自動封入処理を制御するためのみに使用されます。

拡張バーコードの読み取り（2D バーコードのみ）

拡張バーコードには、郵便物の整合性を向上するための追加キャラクタが含まれ、2D バーコードカメラのみで読み取ることができます。例えば、必要なページがスキップされたり、郵便物の順序が乱れている場合、インサーターは処理を停止し、エラーメッセージを表示します。

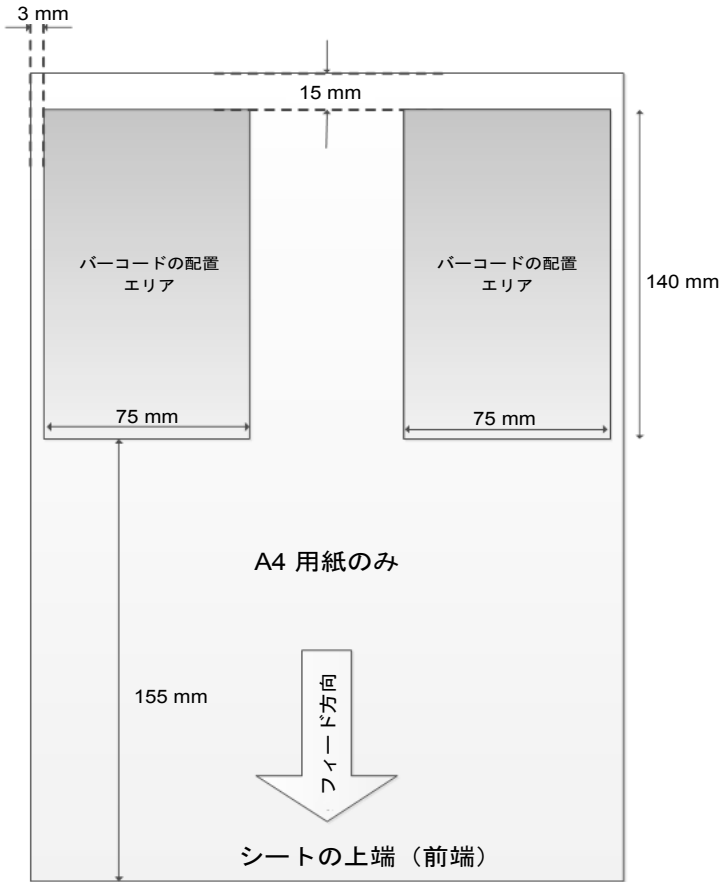
バーコードの印字仕様

バーコードの印字可能な位置

バーコードは、この図で示されているバーコードの印字可能な位置内であれば、どこでも印字できます。ここで示されているエリアは、シートの下
部（後端）にあります。

5・バーコードスキャン

下記の図は、A4 サイズ用紙用です。



バーコードゾーン - クリアゾーンとブランクゾーン

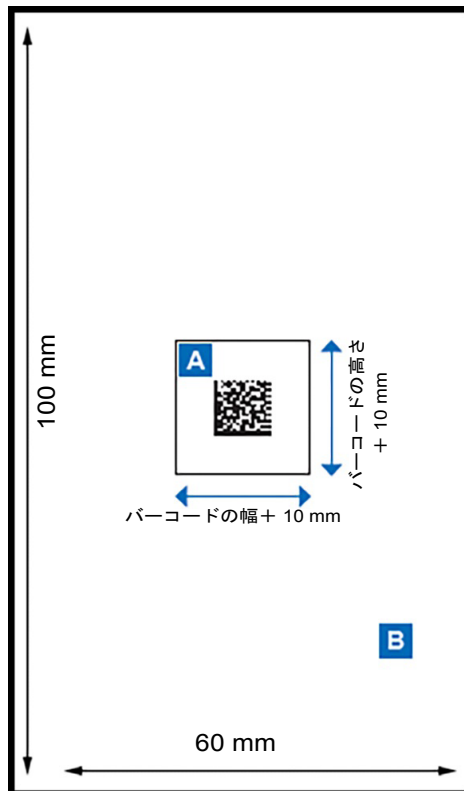
プライマリバーコードの周辺エリアにテキストを印刷したりバーコードを追加したりすることに関して、特別なルールがあります。

クリアゾーン (A)

クリアゾーンは、バーコードに最も近いエリアです。このエリア（下図では文字Aで示されているエリア）は、バーコードの幅+ 5 mm（両端合わせて 10 mm）と、バーコードの高さ+ 5 mm（上下合わせて 10 mm）です。このエリアには何も印刷することはできません。

ブランクゾーン (B)

ブランクゾーンはバーコード周辺のより広範なエリアを意味します（下図では文字Bで示されているエリア）。この図では、ブランクゾーンは 100 mm × 60 mm です。このエリアには、他のバーコードを配置することはできません。



5・バーコードスキャン

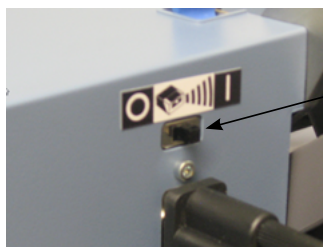
2D バーコードカメラの設定

2D バーコードカメラの設定は、オペレーターのアクティビティです。

2D バーコードカメラをオンにする

システムで使用可能な機能に応じて、OMR（お使いのシステムにこのオプションがある場合）とバーコードスキャンを切り替えられます。

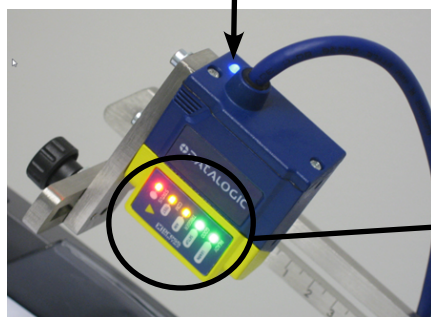
1. 2D バーコードスキャンを有効にするには、オン/オフスイッチを使用して2D バーコードカメラをオンにします。
2. 2D バーコードスキャンを無効にするには、オン/オフスイッチを使用して2D バーコードカメラをオフにします（OMR機能が有効になります）。



バーコードカメラの
オン/オフ
スイッチ

- 2D バーコードカメラの電源をオンにすると、すべてのLEDが1回点滅します。
- リーダーの電源が正常に投入されていると、ケーブルと2Dバーコードカメラの接続部にある青色LEDが点灯します。

青色LED



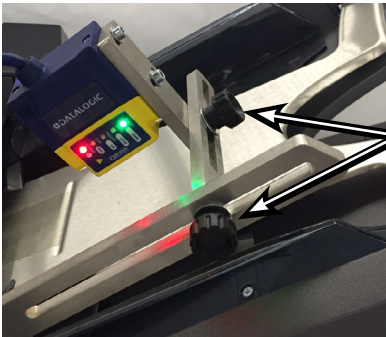
すべてのLED
が点滅

2D バーコードカメラの位置調整

1. インサーターの電源が入っており、2D バーコードカメラがオンになっていることを確認します。
2. バーコードが印字されたシートをシートフィーダーにセットします。
3. スキャナー調整アームにある2つのロックノブを緩めます。
4. シート上のバーコードの真上に、バーコードスキャナーを移動します。
5. カメラを正しい位置に調整したら、バーコード上で緑のライトが点滅します。
6. 機械の前面から見た場合に、緑色のライトの中心点がバーコードの右側にあることを確認します。

注：カメラの位置を右方向に調整しすぎると、緑色のライトが赤色に変わります。

7. カメラの調整が終わったら、2つのロックノブを締めます。



ロックノブ

5・バーコードスキャン

2D バーコードスキャンの最終チェックリスト

- 正しいジョブが選択されていることを確認します。
- バーコードカメラのスイッチがオンの位置になっていることを確認します。
- バーコードカメラがバーコードの上に正しく配置されているかどうかを確認し、必要に応じて調整します。
- このガイドに記載されているインサーターの操作手順に従います。

バーコードエラーメッセージ

インサーターソフトウェアは、OMR およびバーコードスキャンに同じエラーメッセージを使用します。この表を参照して、エラーメッセージを理解し、トラブルシューティングを行います。

メッセージ	問題	解決法
OMR マークなし	<ul style="list-style-type: none"> • スキャナーがバーコードを正常に検知しませんでした。 • 用紙が正しくセットされていません。 	<ul style="list-style-type: none"> • バーコードスキャナーの再調整（「バーコードカメラの位置調整」を参照してください。） • 用紙の方向を確認します。 • バーコードが印刷された用紙が正しいフィーダーにセットされていることを確認してください。
予想されるセットの最初のシート	予想されるセットの最初のシートがバーコードスキャナーで検知されませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • 足りないページを追加します。 • シートの順番を直します。
新しい封筒がありません	セットの最初のシートが検出され、残りは未検出です。	足りないシートを追加して、シートの順番を修正します。
OMR：シーケンスエラー	バーコードに含まれるシーケンス番号がフィードされる以前のページと連続していません。	足りないシートを追加して、シートの順番を修正します。
OMR：SF マークに一貫性がありません	なし	バーコードジョブに使用されていません。
OMR：セットが大きすぎます	シートセットに含まれるシート数が多すぎます。	このガイドで、折りタイプと厚さの制限を参照してください。
OMR：OMR：バッチの終わり - 実行準備完了	機械が「バッチの終わり」のために停止しました。	オペレーターは手動でスタッカー内の封筒をソートできます。
モードの変更フィーダーを確認してください		セットアップモードを終了する前に、用紙およびインサートフィーダー設定を確認してください。

5・バーコードスキャン

2D バーコードの仕様

用紙の仕様

- A4用紙
- 最小用紙重量 70 g/m²
- 最大用紙重量 120 g/m²
- 白の用紙のみ

2D バーコードの仕様

- 印字品質
 - ANSI グレードA推奨 (ANSIグレードB以上必須)
 - 白い用紙に黒印字
 - バーコードの解像度 : 0.20 mm
- モジュールサイズ : 0.35 mm (最小) および 0.50 mm (最大)
- 最大 18 文字
- ECC 200 標準を使用
- バーコードをテキストまたは画像上に印字することはできません
- バーコードの印字はミシン目や穴がかからないようにしてください
- セルはすべて同じサイズである必要があります

6・紙詰まり解消

目次

紙詰まりの解消	6-3
マシン内部へのアクセスによる紙詰まり の除去	6-3
シートフィーダートレイ - 取り外しと 取り付け	6-3
紙折りプレート - 取り外しと取り付け	6-4
インサートトレイ - 取り外しと取り付け	6-4
キャリッジアセンブリへのアクセス	6-4
封筒フィーダーエリアへのアクセス	6-5
封筒排出エリアへのアクセス	6-5
封筒封入／封かんエリアへのアクセス	6-6
シートフィードエリアへのアクセス	6-6

このページは意図的に空白になっています。

紙詰まり解消

マシンは、最も効率的に処理が行われるように設計されています。紙詰まりが発生した場合は、記号がディスプレイ上で点滅し、どこで障害が発生したか示します。

紙詰まりを除去するには、次の手順に従います。

1. **【クリアーデッキ】ボタンをタップして、用紙をマシンから排出します。**
2. 紙詰まりが除去されない場合は、紙詰まりの原因となっているトレイと紙折りプレートを取り外し、詰まっている場所にアクセスします。

手動クランク

紙詰まりの場所を特定したら、手動クランクを使用して、用紙をローラーから手動で取り除くなどします。

手動クランクは、マシンの左前面にあるカバーの中にあります。



マシン内部へのアクセスによる紙詰まりの除去

シートフィーダートレイ - 取り外しと取り付け

シートフィーダートレイを取り外すには、次の手順で行います。

1. トレイの後部を少し持ち上げ、まっすぐに引き出します。

注：トレイに用紙がセットされている場合は、トレイを取り外す際に用紙が前に滑り出ないように、用紙を軽く押さえます。



シートフィーダートレイを取り付けるには、次の手順で行います。

1. トレイをサイドフレームの定位置ガイドに差し込みます。
2. トレイの後部を少し持ち上げ、マシンに押し込みます。トレイは、自動的に正しい位置に収まります。

6・紙詰まり解消

紙折りプレート - 取り外しと取り付け

紙折りプレートを取り外すには、次の手順で行います。

1. プレートの下にある2つの留め具を外側に引いて緩めます。
2. プレートをまっすぐに引き出します。



紙折りプレートを取り付けるには、次の手順で行います。

1. プレートの下にある2つの留め具を外側に引いて緩めます。
2. プレートを定位置ガイド内にスライドして留め具をずらして、プレート在所定の位置に固定します。

インサートトレイ - 取り外しと取り付け

インサートトレイを取り外すには、トレイをマシンからまっすぐに引き出します。

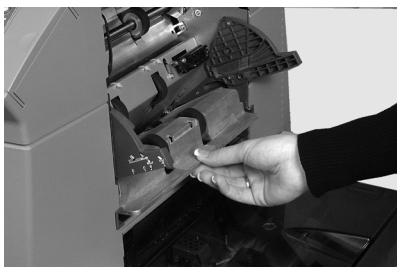
インサートトレイを取り付けるには、トレイを定位置ガイド内にスライドさせ、カチっという音がするまで押します。



キャリッジアセンブリへのアクセス

紙詰まりの場所にアクセスするには、キャリッジアセンブリを引き出します。

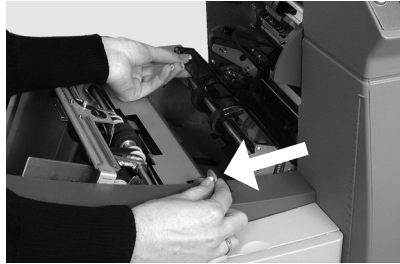
1. インサートフィーダーを取り外します。
2. 紙折りプレート2を取り外します。
3. キャリッジアセンブリを取り外します。



封筒フィーダーエリアへのアクセス

封筒エリアのフィードローラーを取り外して、封筒フィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. リリースレバーを矢印の方向に引きます。
2. 封筒エリアのフィードローラーを持ち上げて、紙詰まりの場所にアクセスします。



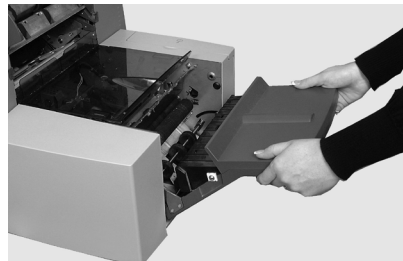
フィードローラーをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 封筒フィーダーエリアのフィードローラーをずらして、定位置に戻します。
2. ローラーをしっかりと下に押し込み、定位置に固定します。

注：封筒フィーダーエリアで詰まった封筒を取り除く場合は、折りプレート1とシートフィーダー2を取り外しておく、スムーズにいきます。

封筒排出エリアへのアクセス

1. アクセスカバー（写真を参照）を引き下げて、紙詰まりの場所にアクセスします。
2. アクセスカバーを閉じる際は、しっかりと閉まったことを確認してください。

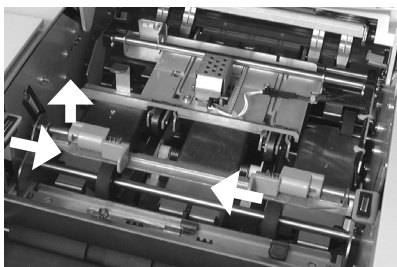


6・紙詰まり解消

封筒封入／封かんエリアへのアクセス

封入エリアおよび封かんエリアにアクセスするには、次の手順で行います。

1. 色のついたプラスチックカバーを持ち上げて、封筒インバーターアクセスカバーを引き下げます。
2. 画像で矢印が付いている部分を取り外して、詰まっている用紙を除去することができます。



シートフィードエリアへのアクセス

青いハンドルを取り外して、シートフィーダーエリアの紙詰まりの場所にアクセスします。

1. 上部カバーを開けます。
2. 2つの青い取手を一緒につまんで、ガイド部分を右方向に回してから、紙を除去します。



青いハンドルをもう一度元に戻すには、次の手順で行います。

1. 2つ青い取手を一緒につまんで、ガイド部分を元に戻し、しまい込みます。
2. ガイド部分がしっかりと定位置に収まっていることを確認してから、2つの青い取手を放します。
3. 上部カバーを閉じます。

7・トラブル シューティング および エラーメッセージ

目次

トラブルシューティング全般.....	7-3
シーラーユニットのフェルトの交換.....	7-7
エラーメッセージ.....	7-9

このページは意図的に空白になっています。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・7

トラブルシューティング全般

問題	解決方法
本体	
ディスプレイに何も表示されない	
電源が入っていない	電源コードがしっかりと接続されており、コンセントで電気がきていることを確認してください。
マシンのスイッチがオンになっていない	電源スイッチ（左正面）をオンにしてください。
マシンが動作しない	
カバーが開いている	すべてのカバーが閉じていることを確認してください。ディスプレイでカバーの位置を確認してください。
フィードトレイまたは紙折りプレートが正しく取り付けられていない	すべてのフィーダーと紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください。正しい位置にしっかりと固定されていることを確認してください。
封入の問題	
封入物が封筒に正しく封入されていない	封筒のトラブルシューティング情報を確認してください。 用紙のサイズに合った正しい紙折りが選択されていることを確認してください。 厚い用紙または薄い用紙を使用する場合は、封筒ストップ調整の変更が必要な場合があります。

7・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ


問題	解決方法
封筒	
封筒がフィードできない	
封筒のサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドを封筒幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
封筒の品質に問題がある	封筒が丸まっていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。セットする前に封筒の束をパラパラとめくってさばいてください。
封筒が正しくセットされていない	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
封筒が開いていない	
封筒が正しくセットされていない	封筒フラップ側を上向きに、フラップ反対側からフィードしてください。
封筒の品質に問題がある	湿気のために、封筒が互いにくっついていないことを確認してください。新しい封筒を使用してください。
封筒の封かんの問題	
封かん水がありません	シーラーユニットに封かん水を補充してください。
封かんモードが選択されていない	<ul style="list-style-type: none"> • ジョブの設定を確認してください。 • 封かんモードをオンにしてください。
封かんが不十分です	封かんフェルトの交換が必要な場合があります。詳細は機器の販売元にお問い合わせください。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・7

問題	解決方法
シート	
シートがフィードできない	
フィードするフィーダーが選択されていない	ジョブの設定を確認してください。
シートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドをシート幅に合わせてセットし、1/4 戻します。
シートが正しくセットされていない	セットする前にシートの束をパラパラとめくってさばいてください。
複数のシートがフィードされる	
手差しフィードモードが選択されている	ジョブの設定と手差しフィードレバーの位置を確認してください。
シートが正しくセットされていない	セットする前に用紙の束をパラパラとめくってさばいてください。
宛先が封筒の窓に正しく表示されない	
住所が記載されたシートが正しくセットされていない	封筒窓から住所が見えるようにシートをセットしてください。
紙折りが正しく設定されていない	ジョブの設定を確認してください。
正しく折られていない	
紙折りとミシン目の位置がほとんど重なっているために、箱折り等になっている	紙折りサイズを微調整して、問題を解決してください。

7・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

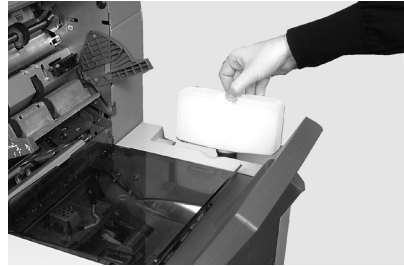
問題	解決方法
インサート	
封入物が正しくフィードされない	
フィーダーがフィードするように選択されていない	ジョブの設定を確認してください。
インサートフィーダーのサイドガイドが正しくセットされていない	ガイドを封入物の幅に合わせてセットし、1/4戻します。
インサートフィーダーのセパレーターが正しく調整されていない	使用する封入物のタイプに合わせて、2つのフィーダー調整（数字とアルファベット設定）が正しく行われていることを確認してください。
封入物が正しくセットされていない	セットする前に封入物の束をパラパラとめくってさばいてください。封入物の束の向きを変更する方法もあります。
インサートフィーダーのウェッジ（押さえ）が正しくセットされていない	ウェッジを下にスライドさせて、封入物の束の後ろで支えるようにセットします。
封入物が仕様に合っていない	本書で仕様を確認してください。

二重検知	
インサーターが実際には発生していないダブルフィードのために停止するか、ダブルフィードが発生しても停止しない	
二重検知機能がオンになっていない	<ul style="list-style-type: none"> 二重検知機能の状態を確認してください。二重検知機能が動作している場合、二重検知アイコン  が、すべてのアイテムの横に表示されます。 必要に応じて、用紙のセットまたはジョブ設定を修正してください。
二重検知機能が正しく調整されていない	新しい用紙をセットした場合は必ずテストを実行し、二重検知機能を再調整してください。新しい用紙では厚みがわずかに異なる場合があります。

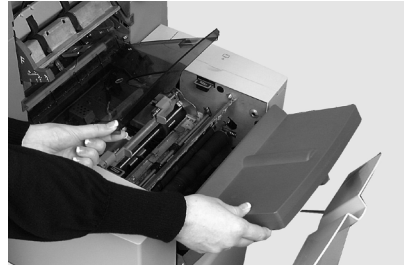
シーラーユニットのフェルトの交換

正常に封かんでできない場合、シーラーユニットのフェルトの交換が必要になることがあります。オペレーターが必要に応じて、交換できます。

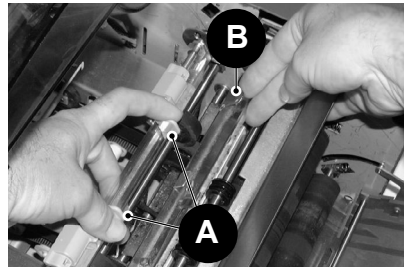
1. マシンの後方右側にある水ボトルカバーを開き、ボトルを取り外します。



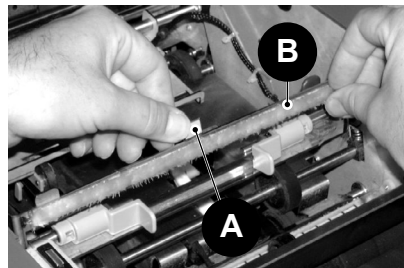
2. 封筒インバーターのアクセスカバーを開け、封入エリアのプラスチックカバーを持ち上げます。



3. 2つの青いタブ (A) を両側からつまんで青いタブ (B) を持ち上げると、シーラーユニットのフェルトが見えるようになります。

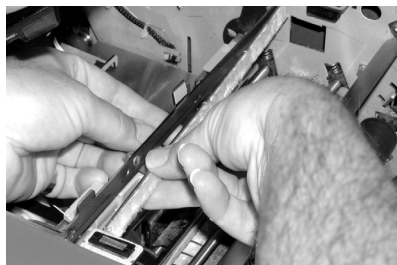


4. ラッチ (A) を後方に押し、上部シーラーフェルト (B) をつかみ、マシン前方に向かってスライドします。



7・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

1. フェルトをバーから取り外し、古いフェルトを廃棄します。
2. 新しい上部フェルトを取り付けます。フェルト部の裏にあるつまみを見つけて、取り付けバーの対応する穴に差し込み、マシンの後方に向かってフェルトをスライドさせてます。フェルトがしっかり取り付けられていることを確認します。



3. キットに同梱されているプラスチックのピンセットを使用して、封かん水タンクから4枚のフェルトすべてを取り外します。これらの古いフェルトは廃棄します。



4. 新しい4枚のフェルトを封かん水タンクに取り付けます。フェルトは、1方向にのみ取り付けることができます。フェルトを完全に押し下げて、タンクに取り付けます。



5. 青いツメを押し下げて、上フェルトアセンブリを動作位置に戻します。青いラッチ (A) が飛び出して、しっかりと固定されていることを確認します。



6. 水ボトルを元の位置に戻し、カバーを閉じます。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・7

エラーメッセージ

メッセージ	アクション
インバーターを確認してください	封筒インバーターが正しい位置にセットされていません。 <ul style="list-style-type: none">インバーターカバーを開いて、用紙を確認してください。カバーを閉めて、再起動してください。
カバーを閉めてください	表示されたカバーが完全に閉まっていません。表示されたカバーを閉じて、インサーターを再起動してください。
紙折りプレートがセットされていません	紙折りプレートが正しい位置にセットされていません。 <ul style="list-style-type: none">紙折りプレートを除去し、用紙を確認してください。紙折りプレートをセットして、再起動してください。
紙折りプレートを確認してください	表示された紙折りプレートは、正しく取り付けられていません。紙折りプレートを取り外して、取り付け直してください。
紙折りプレートをクリアしてください	画面に表示されている紙折りプレート内に用紙が検出されました。 <ul style="list-style-type: none">紙折りプレートを除去し、用紙を確認してください。紙折りプレートをセットします。
最後の郵便物を確認してください	封筒が開けませんでした。 <ul style="list-style-type: none">封筒が正しくセットされていることを確認してください。封筒をセットしなおして、機器を再起動してください。
サービス担当者に連絡してください	インサーターの電源をオフにしてから、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、サービス担当者に連絡してください。
手動搬送カバーを閉めてください	手動搬送つまみドアが完全に閉まっていません。ドアを閉じてください。

7・トラブルシューティングおよびエラーメッセージ

メッセージ	アクション
手動フィードがタイムアウトしました	<p>用紙フィードは、事前設定された時間内に検出されませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手動フィードモードでは、設定時間内に用紙をフィードする必要があります。 【START (スタート)】を押して、機械を再起動してください。
巡回冗長検査エラー	<p>エラーのため、半分折り機能が使用できません。紙折りプレートを除去し、用紙を確認してください。</p>
シーラーをクリアしてください	<p>用紙がシーラーブラシエリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インサーター左側の色の付いたプラスチックカバーを開き、用紙を取り除いてください。 カバーを閉めて再起動してください。
システムエラーです、電源を切ってください	<p>メインソフトウェアでエラーが検出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インサーターのスイッチをオフにして、再試行してください。 問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
ストリームフィードです	<p>インサーターが、示されたフィードトレイで2枚のシートがフィードされたことを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インサーターから用紙を取り除いてください。 シートをセットし直し、インサーターを再起動します。
ストリームフィードです、スタッカーを確認してください	<p>インサーターが、示されたフィードトレイで2枚のシートがフィードされたことを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッカーからストリームフィードを取り除いてください。 シートをセットし直し、インサーターを再起動します。
ダブルフィード	<p>示されているフィードトレイでダブルフィードが検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インサーターから用紙を取り除いて、再起動してください。 それでもダブルフィードのエラーが表示される場合は、別のトライアルを要求してください。

トラブルシューティングおよびエラーメッセージ・7

メッセージ	アクション
ダブルフィードです、スタッカーを確認してください	<p>示されているフィードトレイでダブルフィードが検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッカーからダブルフィードされた用紙を取り除いてください インサーターを再起動してください。
トレイが空です	<p>表示されたトレイに用紙がありません。トレイを再度セットしてから、[START (スタート)]を押してください。</p>
フィーダーを確認/クリアしてください	<p>表示されたフィーダーは、用紙のフィードに失敗しました。フィードトレイから用紙を取り除き、再度セットしてからインサーターを再起動してください。</p>
フィーダーを確認してください	<p>表示されたフィーダーは、正しく取り付けられていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイをを取り外して、取り付け直してください。 表示されたフィーダーにセットされている用紙も確認してください。
封入エリアをクリアしてください	<p>用紙が封入エリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> インサーター左側の色の付いたプラスチックカバーを開き、用紙を取り除いてください。 カバーを閉じて、インサーターを再起動してください。
モイストナーをクリアしてください	<p>用紙がシーラーブラシエリアで検知されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器の左側の色の付いたプラスチックカバーを開き、用紙を取り除きます。 カバーを閉じて、インサーターを再起動してください。
用紙が不足しています	<p>インサーターが、用紙が短すぎることを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際用の紙の長さが表示される長さと同じであることを確認してください。 正しい場合、別のトライアルを要求してください。
用紙が不足しています、スタッカーを確認してください	<p>インサーターが、用紙が短すぎることを検知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際用の紙の長さが表示される長さと同じであることを確認してください。 正しい場合、別のトライアルを要求してください。
レバーをセットしてください	<p>手動フィードレバーが実行しているモードに適した正しい位置にセットされていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手動フィードレバーを正しい位置に移動してください（左の位置：手動、右：自動）。

このページは意図的に空白になっています。

8・マテリアルの仕様

目次

マテリアルの仕様.....	8-3
シートフィーダー.....	8-3
インサートフィーダー.....	8-5
シーラー.....	8-5
スタッカー.....	8-5
用紙要件.....	8-5
封筒フィーダー.....	8-6
マシンの仕様.....	8-7
サービス.....	8-8

このページは意図的に空白になっています。

マテリアルの仕様

シートフィーダー

最小用紙サイズ： 幅 127 mm
長さ 127 mm

最大用紙サイズ： 幅 229 mm
長さ 406 mm

用紙の重量： 最小 60 g/m² (OMR 以外)
最小 70 g/m² (OMR)
最大 120 g/m²

折りの設定（紙折り前の用紙の長さ制限）：

折りタイプ	計測値
二つ折り	127 mm～315 mm
内三つ折り	150 mm～356 mm
外三つ折り	201 mm～356 mm
四つ折り	305 mm～406 mm

二重検知用紙の範囲：

最小： 60 g/m²
最大： 120 g/m²

フィードトレイの容量： 80 g/m²、シートで最大 325 枚

手差しフィードモード：

- インサーターは、80 g/m² の用紙を最大 5 枚セット（ホチキス留めあり、最大400 g/m²）まで処理可能です。
注：手差しフィードでは、シートフィーダー 1 のみを使用し、必要に応じてインサートフィーダーを使用できます。
- 折り後の最大の厚みは、2 mmを超えないようにしてください。
- 光沢紙およびコート紙の使用はお勧めしません。

8・マテリアルの仕様

折りタイプと全体の厚さの制限

下の表は、用紙の紙質の違いに基づいて、積載または丁合いが可能な最大シート数を示しています。

重要！これらの最大枚数を超えるジョブを設定したり、OMRコード印刷や OMR 選択フィードで設定しないでください。

シート数	用紙の重量 (g/m ²)		
	60 ~ 80	81 ~ 100	101 ~ 120
1	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S、D
2	C、Z、S、D	C、Z、S、D	C、Z、S
3	C、Z、S、D	C、Z、S	C、Z、S
4	C、Z、S	C、Z、S	
5	C、Z、S		

折りタイプ：C=内三つ折り、Z=外三つ折り、S=二つ折り、D=四つ折り

注

- 郵便の内容物の厚みが 2 mmを超えない場合に限り、補助フィーダーから 1 枚と入物封を 1 枚さらに追加できます。
- 60 ~ 75 g/m²用紙を二つ折りする場合は、封筒には最大 10 枚入れることができます。この最大数には、補助フィーダーやインサートフィーダーからの追加の枚数が含まれます。その場合も、厚みの最大値である 2 mmが適用されます。

インサートフィーダー

最小サイズ： 幅 127 mm
長さ 82 mm

最大サイズ： 幅 230 mm
長さ 152 mm

用紙の重量： 最小 75 g/m² (折りなし、カットシート)
最大 180 g/m² (1枚のシート)
最小 60 g/m² (折り済み)
最大の厚みが 2 mmの封入物

折り済み封入物および 1 枚板状の封入物は、インサートフィーダーからフィードする必要があります。

二重検知

用紙幅： 最小 60 g/m²
最大 120 g/m²

フィードトレイの容量： 最大 300 枚

シーラー

1 回の補充で最大 1,200 枚の封筒を封かんします。

スタッカー

封筒スタッカーには、封入済みの封筒を最大 150 通積み重ねられます (封筒サイズと内容物によって変わります)。

用紙要件

- 最高の性能を得るために、ピツニーボウズ推奨用紙のみを使用してください。
- 品質を維持するために、用紙は適切な方法で保管してください。
- 推奨される保管条件
18°C~25°C
40%~60% の相対湿度

8・マテリアルの仕様

封筒フィーダー

最小封筒サイズ： 縦 88 mm
横 220 mm

最大封筒サイズ： 縦 164 mm
横 242 mm



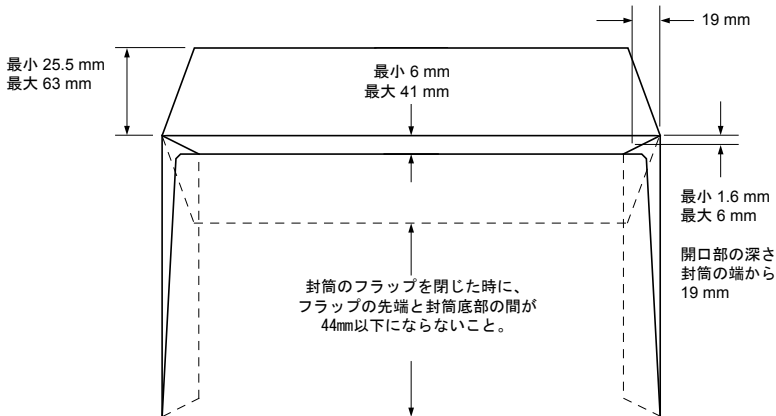
封筒の重量： 最小 65 g/m²
最大 100 g/m²

封筒トレイの容量： 最大 300通（90 g/m²）の封筒。

端の余白： 封入物と封筒の端の余白は、両端とも最小 6 mm です。つまり、合計で最小 12 mm です。この余白は、封筒に入れるすべての用紙に適用されます。

深さの余白： 封入物は、封筒に完全に挿入後、フラップの折り目の下に、紙折りしていない用紙は最小 3 mm、紙折りしている用紙は 6 mm の余白が必要となります。

封筒のフラップと開口部の要件



マシンの仕様

マシンサイズ：

長さ： 980 mm
奥行き： 514 mm
高さ： 525 mm
重量： 65 kg

騒音レベル（稼働中）： 73 dBA

電源仕様：

100 V、50/60 Hz、6A

処理スピード：

1 時間あたり最大 3,500 サイクル（折りタイプ、用紙の品質により異なります。）

紙折りモード：

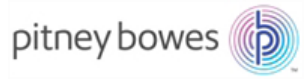
- 二つ折り
- 内三つ折り
- 外三つ折り
- 四つ折り

8・マテリアルの仕様

サービス

ピツニーボウズサービスはインサーターを最高の状態をご利用いただくために、保守契約を提供しています。詳細は、お近くのピツニーボウズオフィスまたは指定販売店までご連絡ください。

このページは意図的に空白になっています。



ピツニーボウズジャパン(株)
www.pitneybowes.com/jp

SV63138-JA Rev. D
© 2016 Pitney Bowes Inc.
All Rights Reserved